

3 家庭生活や地域活動について

(1) 家庭生活における配偶者（パートナー）との役割分担《理想》

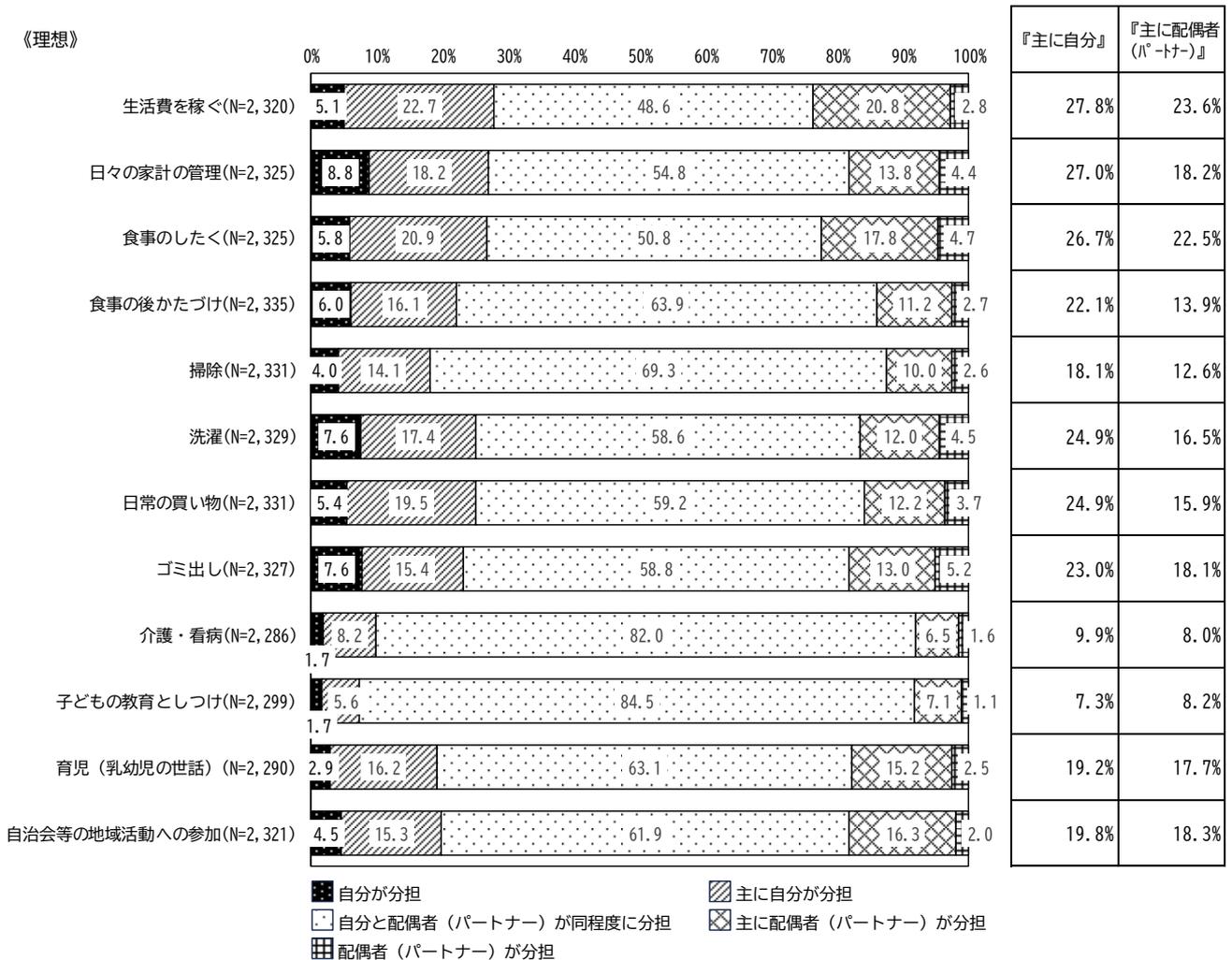
問17 あなたは、次の(1)～(12)のことについて、配偶者（パートナー）とどのように分担するのがよいと思いますか。それぞれの項目について番号を1つずつ選んでください。現に配偶者（パートナー）がいない方は、いる場合を想定してお答えください。

- 《理想》としては、どの分野も「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」の割合が高く、【介護・看病】【子どもの教育としつけ】が約8割

各分野での家庭生活における配偶者（パートナー）との役割分担《理想》は、「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」の割合が高く、【介護・看病】は82.0%、【子どもの教育としつけ】は84.5%と多くなっている。

「自分が分担」と「主に自分が分担」をあわせた『主に自分』は、【生活費を稼ぐ】が最も多く27.8%となっている。

一方、「主に配偶者（パートナー）が分担」と「配偶者（パートナー）が分担」をあわせた『主に配偶者（パートナー）』は、【生活費を稼ぐ】が最も多く23.6%となっている。



(2) 家庭生活における配偶者（パートナー）との役割分担《現実》

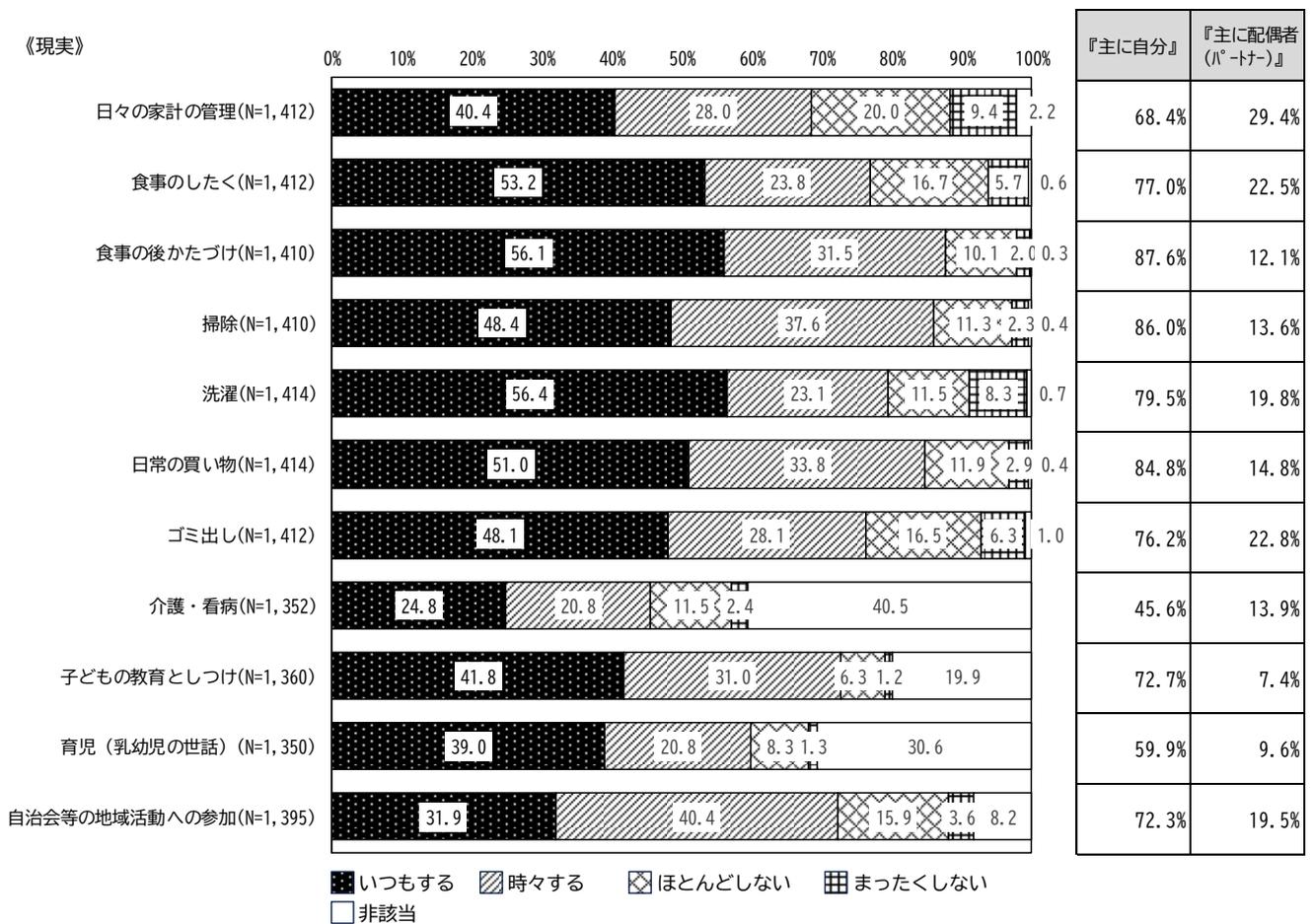
（配偶者（パートナー）がいる方のみ）

問18 あなたは、次の（１）～（１１）の家庭内の仕事を実際にどの程度していますか。それぞれの項目について番号を1つずつ選んでください。

●《現実》としては、どの分野も『主に自分』の割合が高い

各分野での家庭生活における配偶者（パートナー）との役割分担《現実》は、「いつもする」と「時々する」をあわせた『主に自分』は、【食事の後かたづけ】が最も多く87.6%、次いで【掃除】が86.0%、【日常の買い物】が84.8%と続いている。

男性の役割分担の割合が高い（女性の割合を上回った）項目は、【ごみ出し】【自治会等の地域活動への参加】のみ。一方、女性の役割分担の割合が高い項目は、【掃除】【洗濯】【日常の買い物】【食事のしたく】【食事の後かたづけ】で、『主に自分』の回答が9割を超えている。

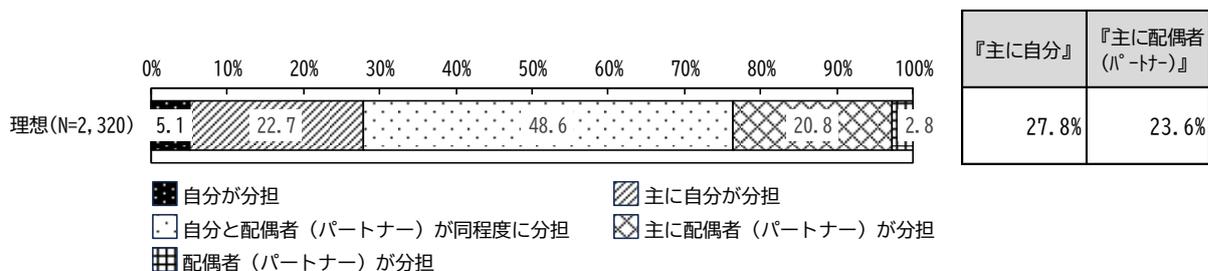


(3) 家庭生活における配偶者（パートナー）との役割分担《理想》と《現実》

（配偶者・パートナーがいる方のみ）

① 生活費を稼ぐ ※《理想》のみ

理想では、「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く 48.6%となっている。「自分が分担」と「主に自分が分担」をあわせた『主に自分』は 27.8%、「主に配偶者（パートナー）が分担」と「配偶者（パートナー）が分担」をあわせた『主に配偶者（パートナー）』は 23.6%となっている。



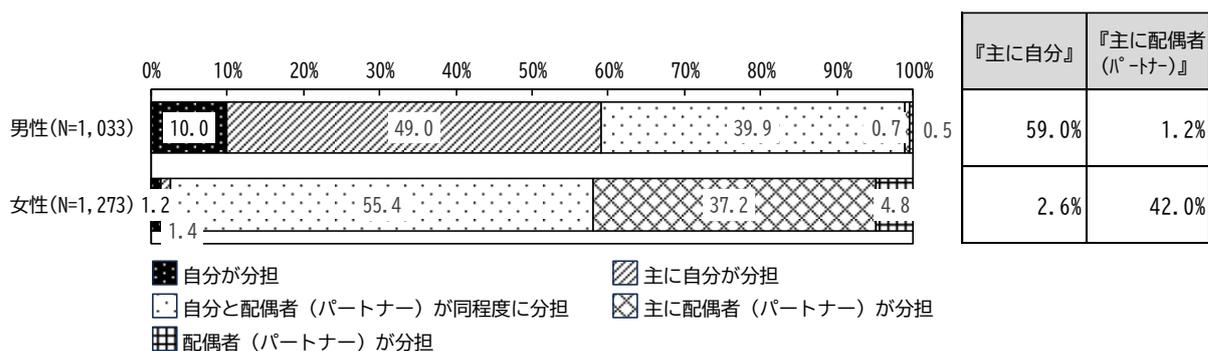
【性別】（生活費を稼ぐ）

《理想》

男性では、「主に自分が分担」が最も多く 49.0%、次いで「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が 39.9%となっている。

女性では、「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く 55.4%、次いで主に配偶者（パートナー）が分担」が 37.2%となっている。

『主に自分』『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、男性、女性ともに大きく差があり、主に男性の役割分担となっている。

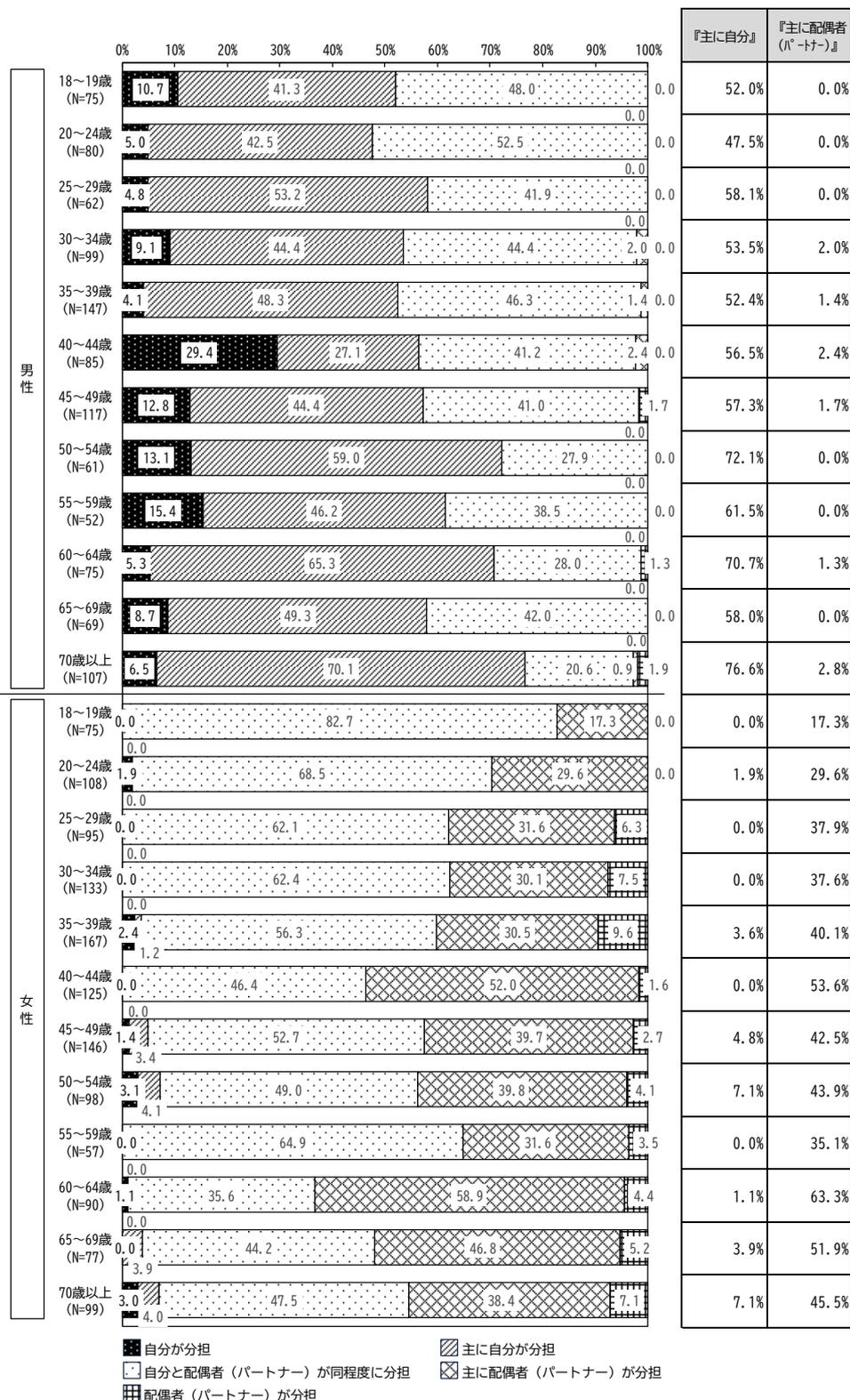


【性・年代別】（生活費を稼ぐ）

《理想》

男性では、18～24歳、40～44歳を除く年代は「主に自分が分担」が、18～24歳、40～44歳は「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多くなっている。（30～34歳は「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」と同率）

女性では、40～44歳、60～69歳を除く年代は「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が、40～44歳、60～69歳は「主に配偶者（パートナー）が分担」が最も多くなっている。

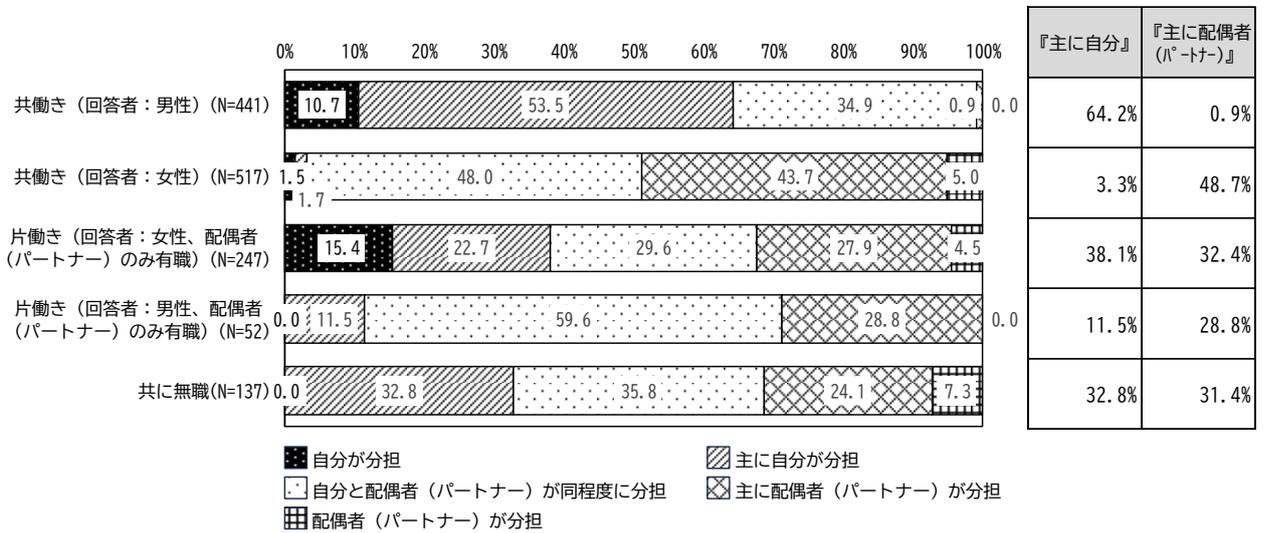


【片働き・共働き別】（生活費を稼ぐ）

《理想》

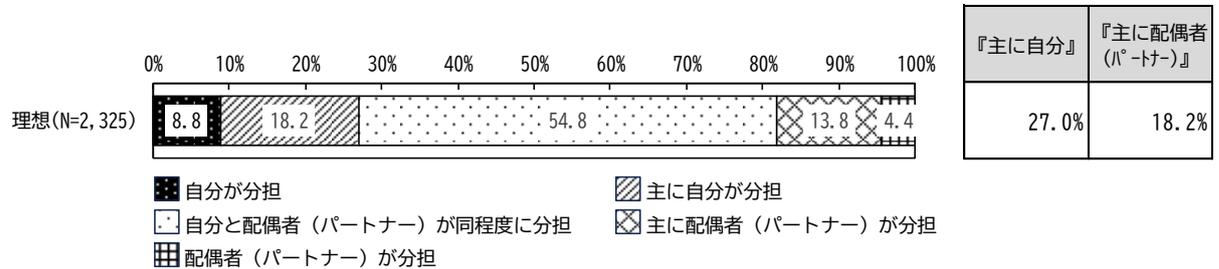
『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く 64.2%、次いで片働き（回答者：女性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 38.1%と続いている。

『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：女性）が最も多く 48.7%、次いで片働き（回答者：女性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 32.4%と続いている。

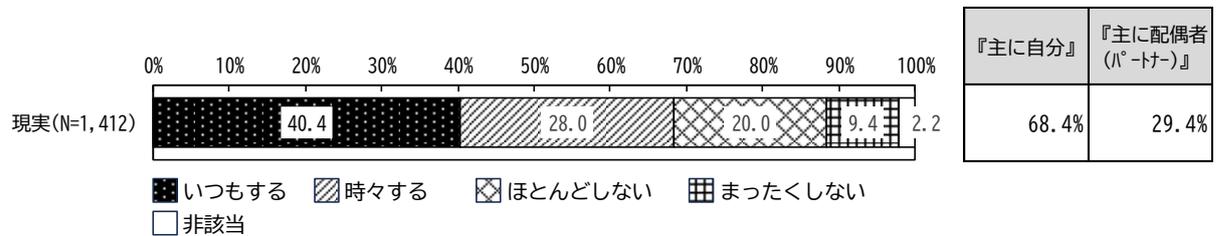


② 日々の家計の管理

理想では、「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く 54.8%となっている。「自分が分担」と「主に自分が分担」をあわせた『主に自分』は 27.0%、「主に配偶者（パートナー）が分担」と「配偶者（パートナー）が分担」をあわせた『主に配偶者（パートナー）』は 18.2%となっている。



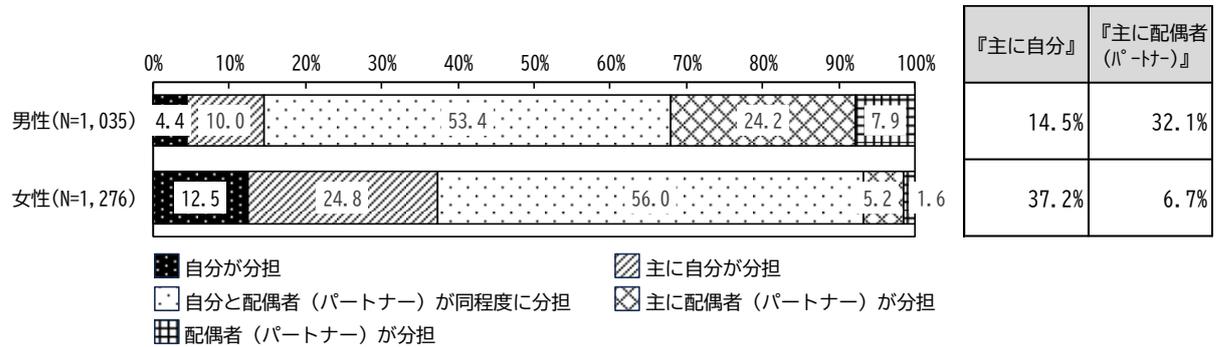
現実では、「いつもする」が最も多く 40.4%、次いで「時々する」が 28.0%、「ほとんどしない」が 20.0%と続いている。



【性別】（日々の家計の管理）

《理想》

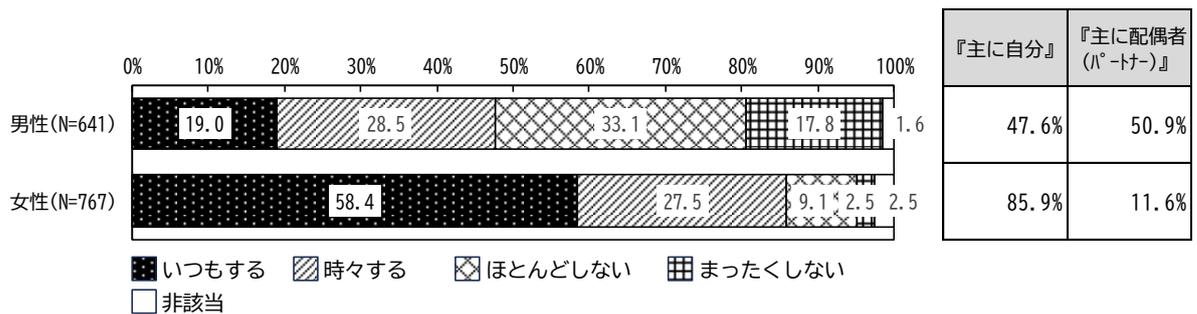
男性、女性ともに「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く、男性が 53.4%、女性が 56.0%となっている。



《現実》

男性では、「ほとんどしない」が最も多く 33.1%、次いで「時々する」が 28.5%、「いつもする」が 19.0%と続いている。

女性では、「いつもする」が最も多く 58.4%、次いで「時々する」が 27.5%、「ほとんどしない」が 9.1%と続いている。

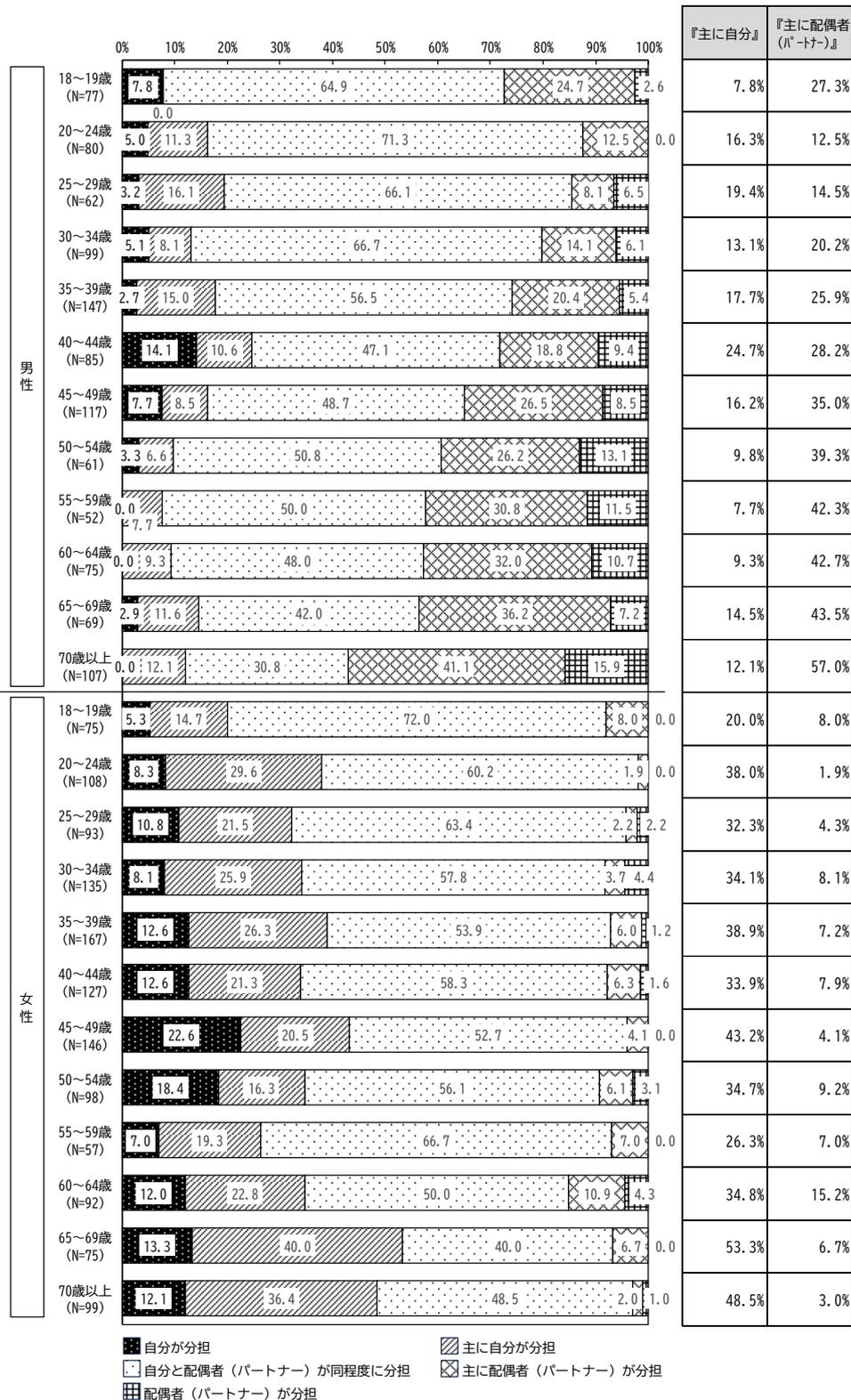


【性・年代別】(日々の家計の管理)

《理想》

男性では、18歳～69歳は「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が、70歳以上は「主に配偶者（パートナー）が分担」が最も多くなっている。

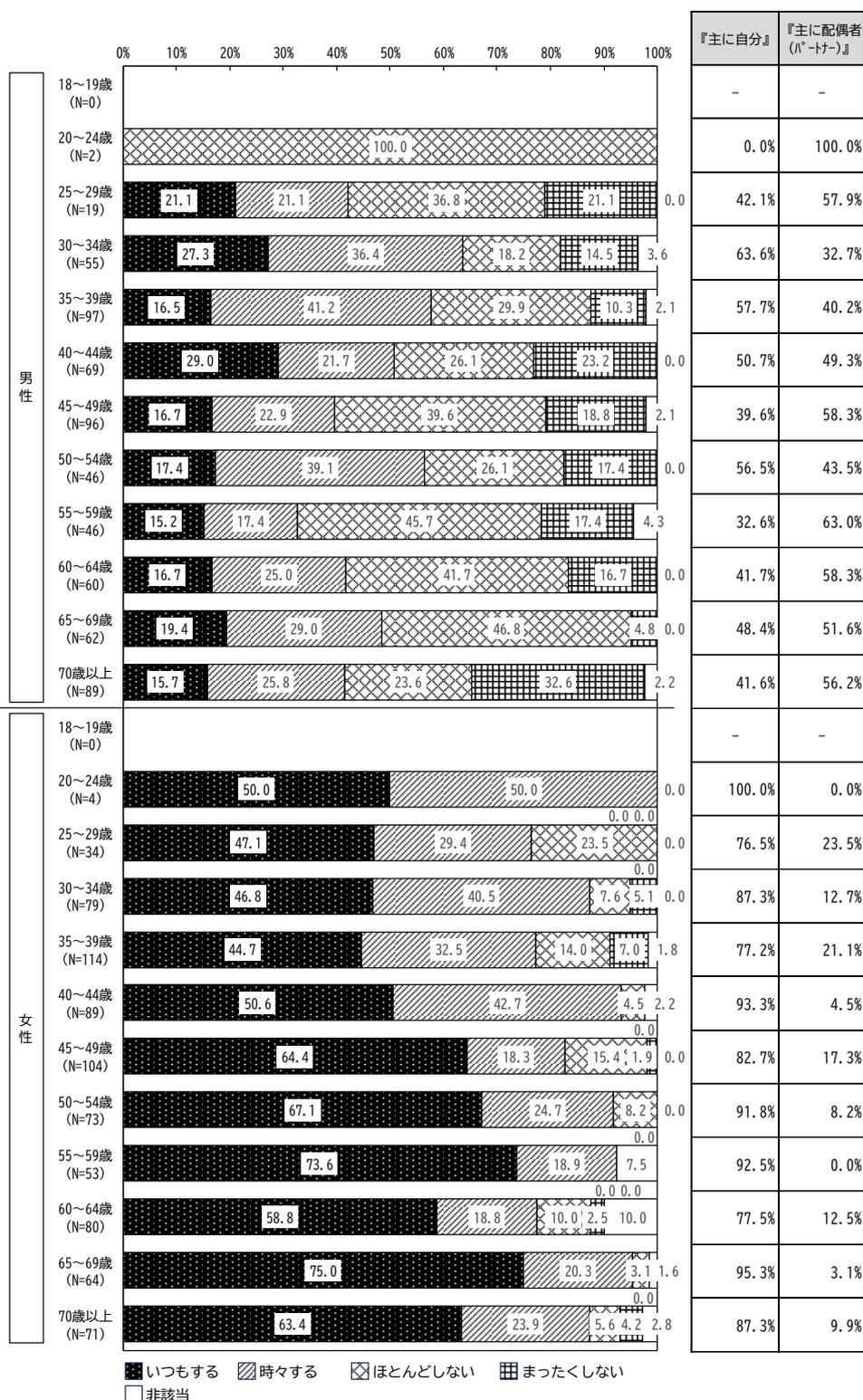
女性では、どの年代においても「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多くなっている。(65～69歳は「主に自分が分担」と同率)



《現実》

男性では、40～44歳は「いつもする」が、30～39歳、50～54歳は「時々する」が、70歳以上は「まったくしない」が最も多くなっている。

女性では、どの年代においても「いつもする」が最も多くなっている。(20～24歳は「時々する」と同率)

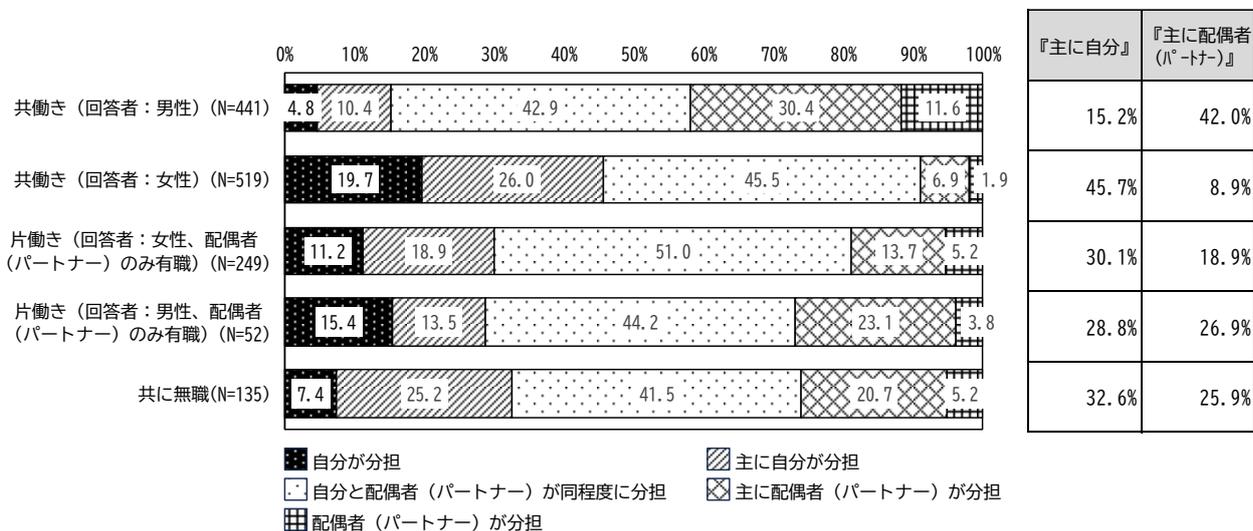


【片働き・共働き別】（日々の家計の管理）

《理想》

『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：女性）が最も多く 45.7%、次いで共に無職が 32.6%と続いている。

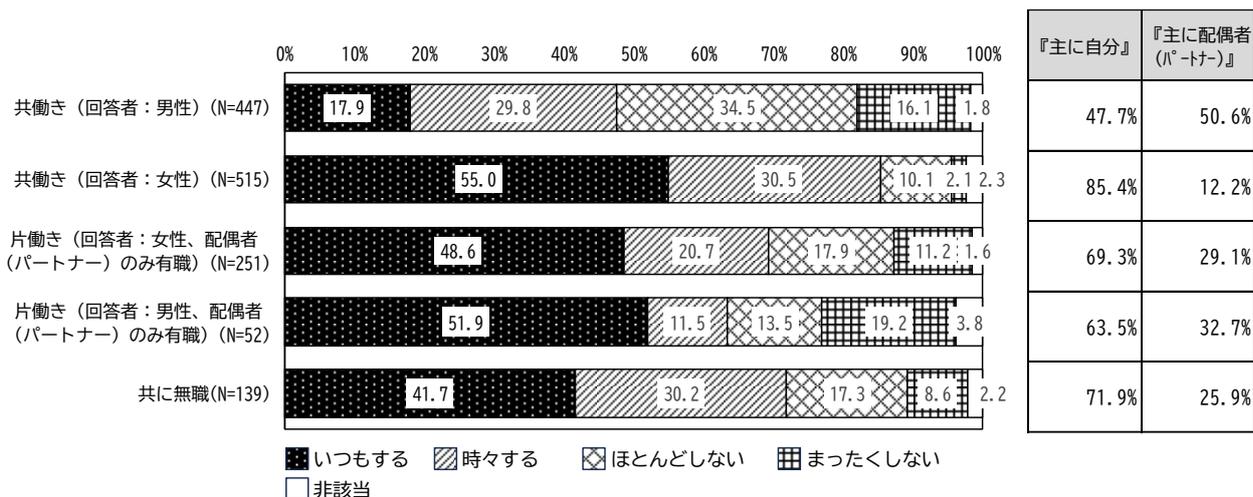
『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く 42.0%、次いで片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 26.9%と続いている。



《現実》

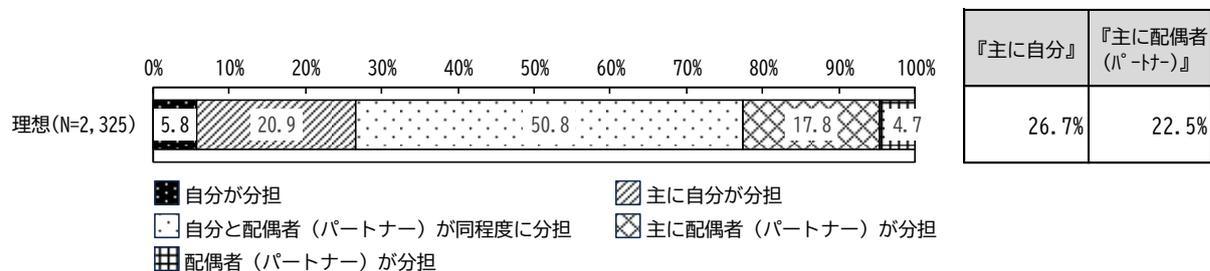
『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：女性）が最も多く 85.4%、次いで共に無職が 71.9%と続いている。

『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く 50.6%、次いで片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 32.7%と続いている。

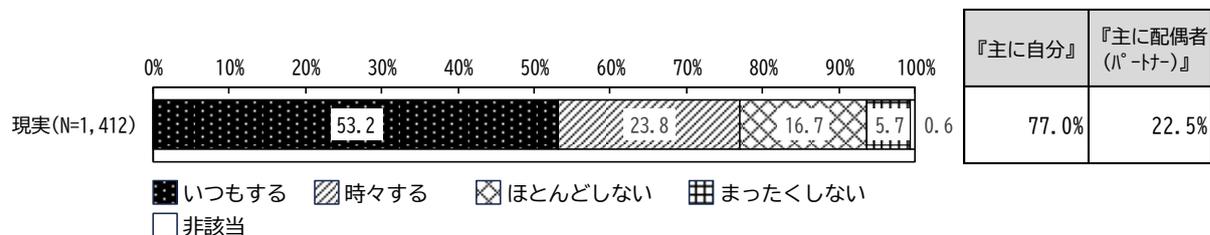


③ 食事のしたく

理想では、「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く 50.8%となっている。「自分が分担」と「主に自分が分担」をあわせた『主に自分』は 26.7%、「主に配偶者（パートナー）が分担」と「配偶者（パートナー）が分担」をあわせた『主に配偶者（パートナー）』は 22.5%となっている。



現実では、「いつもする」が最も多く 53.2%、次いで「時々する」が 23.8%、「ほとんどしない」が 16.7%と続いている。

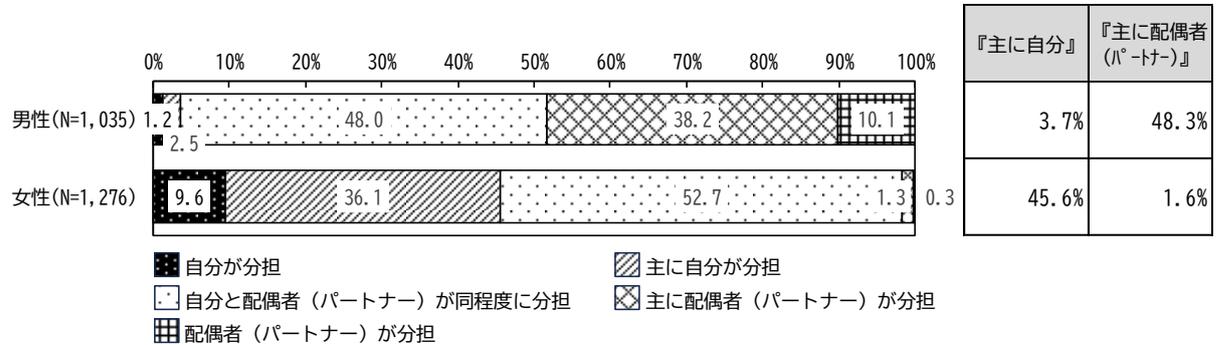


【性別】（食事のしたく）

《理想》

男性、女性ともに「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く、男性が 48.0%、女性が 52.7%となっている。

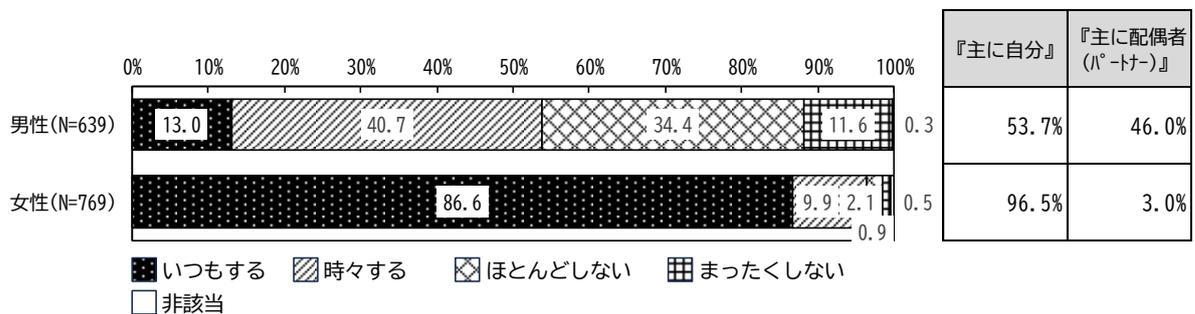
『主に自分』『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、男性、女性ともに大きく差があり、主に女性の役割分担となっている。



《現実》

男性では、「時々する」が最も多く 40.7%、次いで「ほとんどしない」が 34.4%、「いつもする」が 13.0%と続いている。

女性では、「いつもする」が最も多く 86.6%、次いで「時々する」が 9.9%、「ほとんどしない」が 2.1%と続いている。

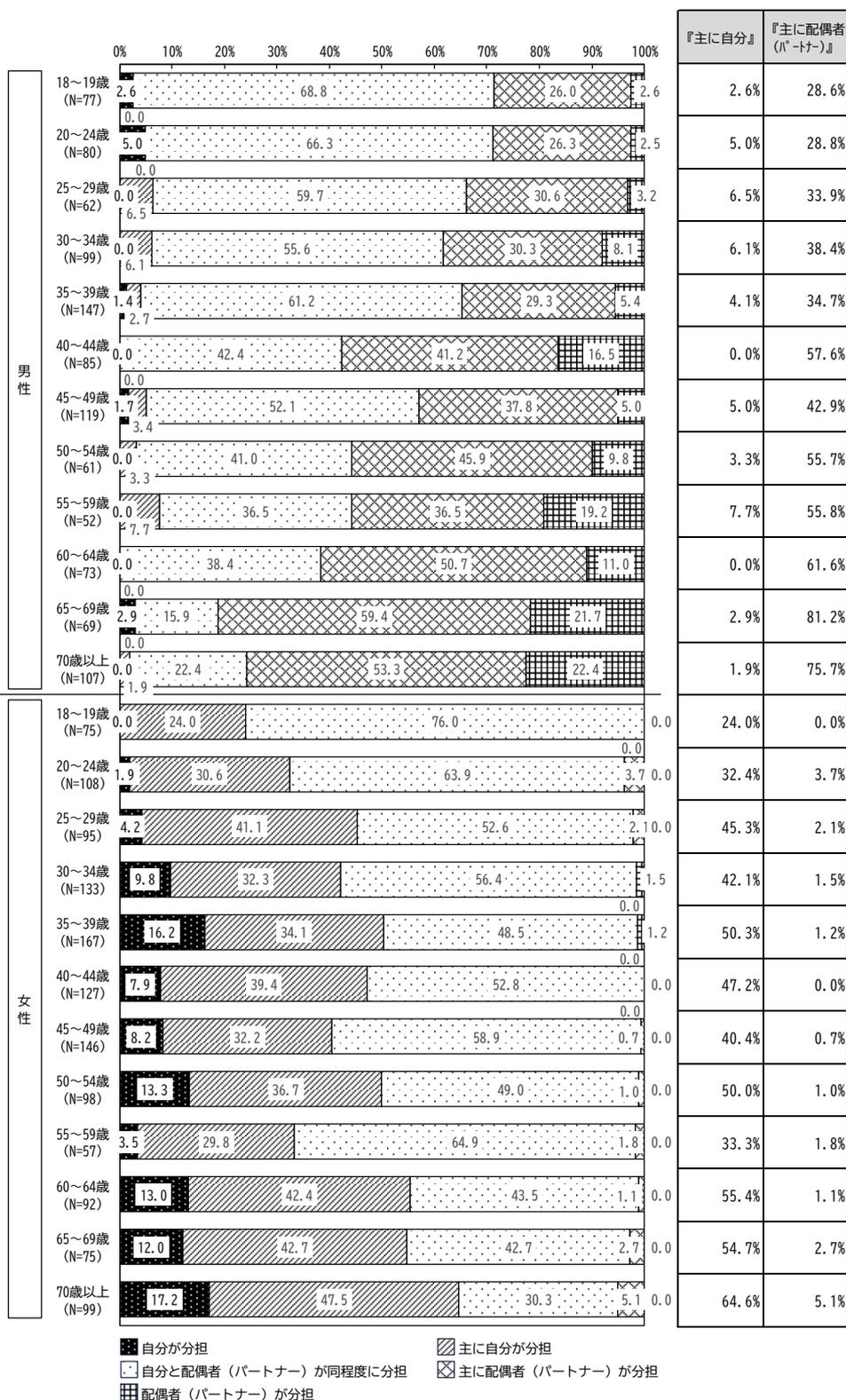


【性・年代別】（食事のしたく）

《理想》

男性では、18～49歳は「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が、50歳以上は「主に配偶者（パートナー）が分担」が最も多くなっている。（55～59歳は「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」と同率）

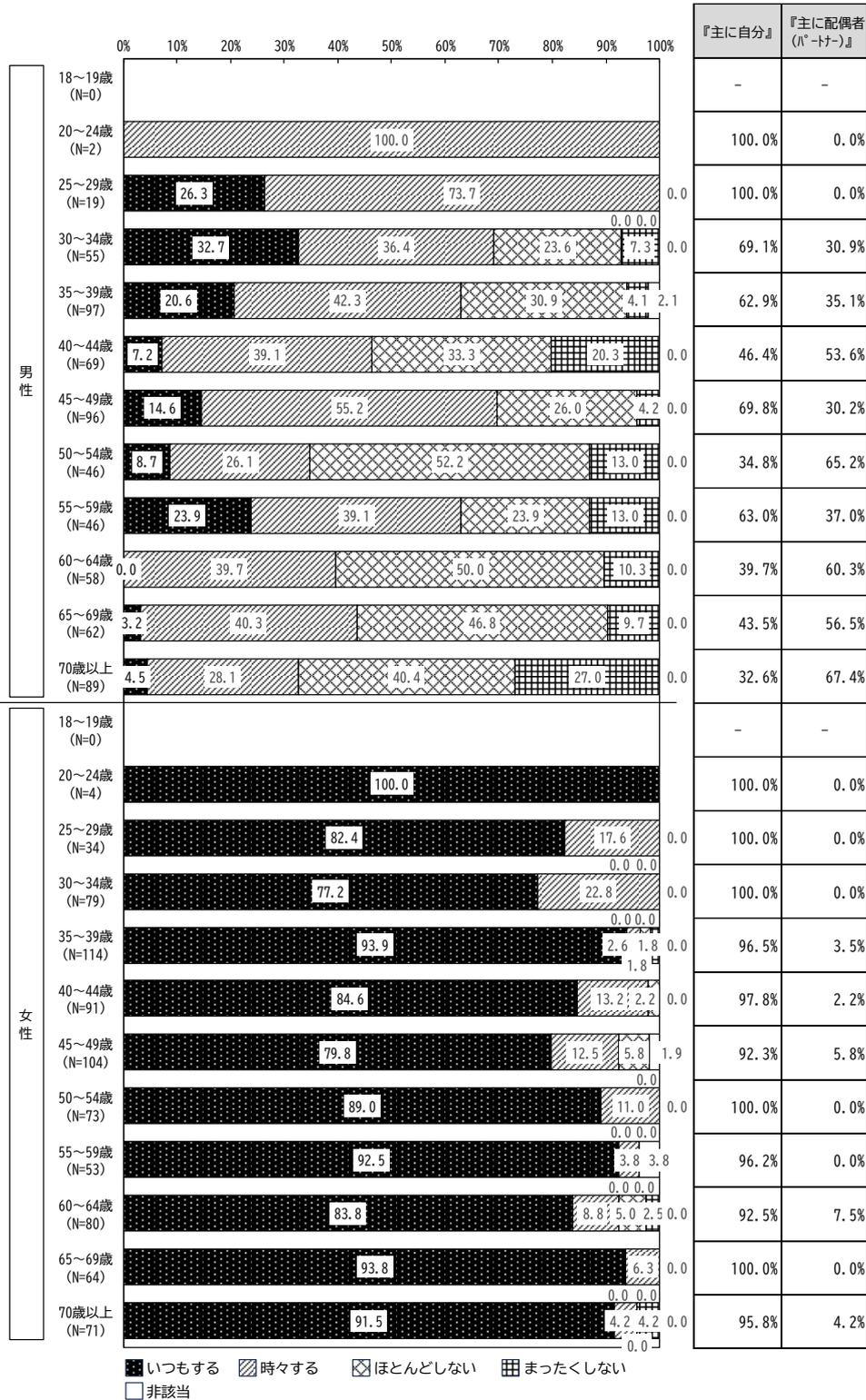
女性では、65歳以上を除く年代は「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が、65歳以上は「主に自分が分担」が最も多くなっている。（65～69歳は「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」と同率）



《現実》

男性では、20～49歳、55～59歳は「時々する」が、その他の年代は「ほとんどしない」が最も多くなっている。

女性では、どの年代においても「いつもする」が最も多くなっている。

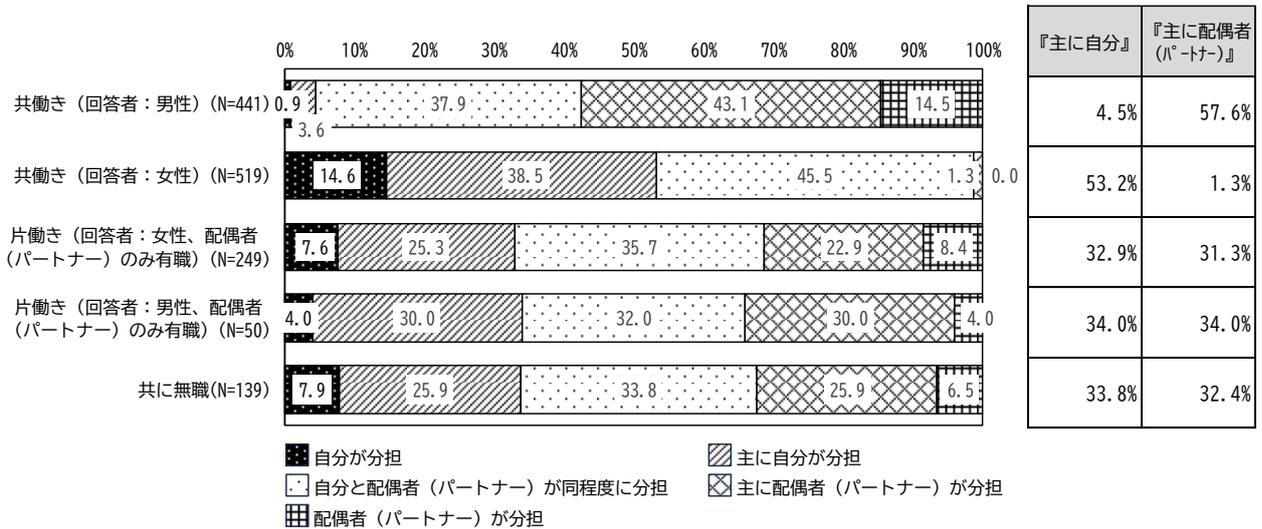


【片働き・共働き別】（食事のしたく）

《理想》

『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：女性）が最も多く 53.2%、次いで片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 34.0%と続いており、一方で、共働き（回答者：男性）は 4.5%と少ない。

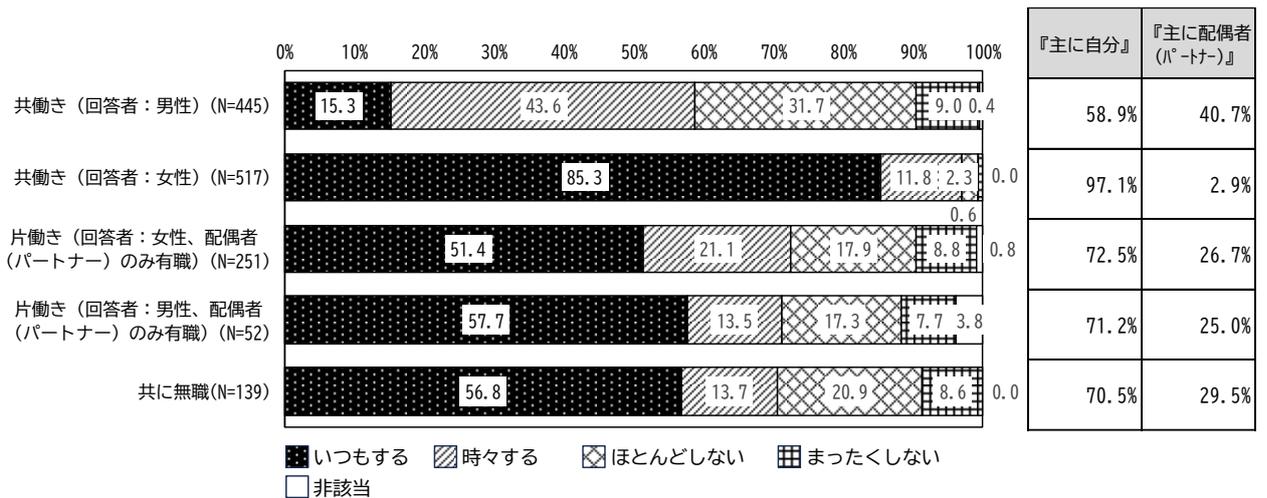
『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く 57.6%、次いで片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 34.0%と続いている。



《現実》

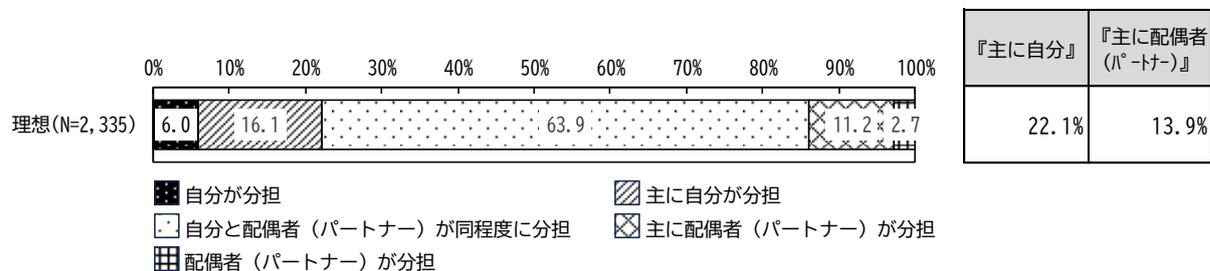
『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：女性）が最も多く 97.1%、次いで片働き（回答者：女性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 72.5%と続いている。

『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く 40.7%、次いで共に無職が 29.5%と続いている。

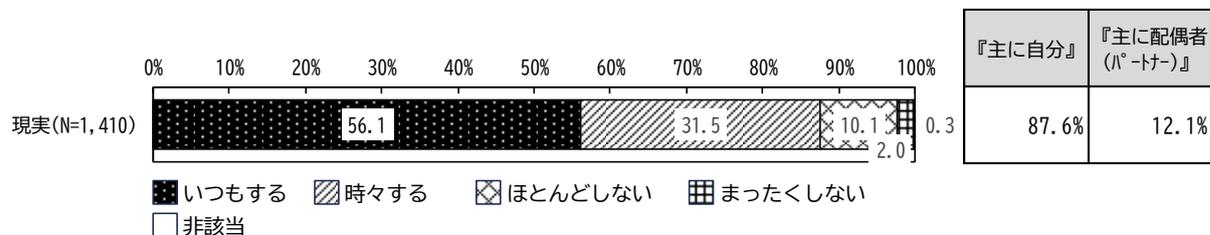


④ 食事の後かたづけ

理想では、「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く 63.9%となっている。「自分が分担」と「主に自分が分担」をあわせた『主に自分』は 22.1%、「主に配偶者（パートナー）が分担」と「配偶者（パートナー）が分担」をあわせた『主に配偶者（パートナー）』は 13.9%となっている。



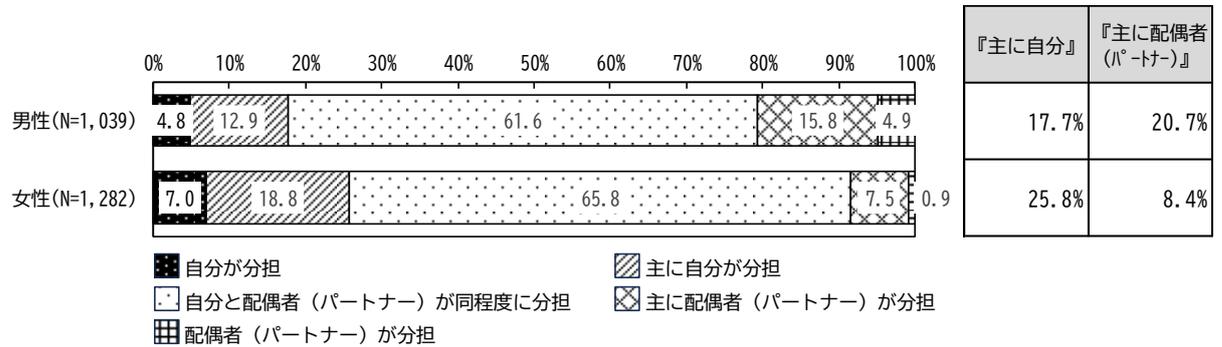
現実では、「いつもする」が最も多く 56.1%、次いで「時々する」が 31.5%、「ほとんどしない」が 10.1%と続いている。



【性別】（食事の後かたづけ）

《理想》

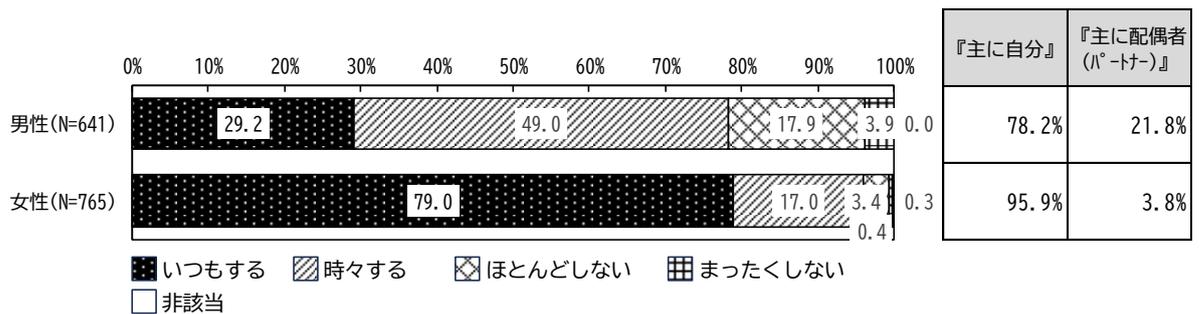
男性、女性ともに「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く、男性が 61.6%、女性が 65.8%となっている。



《現実》

男性では、「時々する」が最も多く 49.0%、次いで「いつもする」が 29.2%、「ほとんどしない」が 17.9%と続いている。

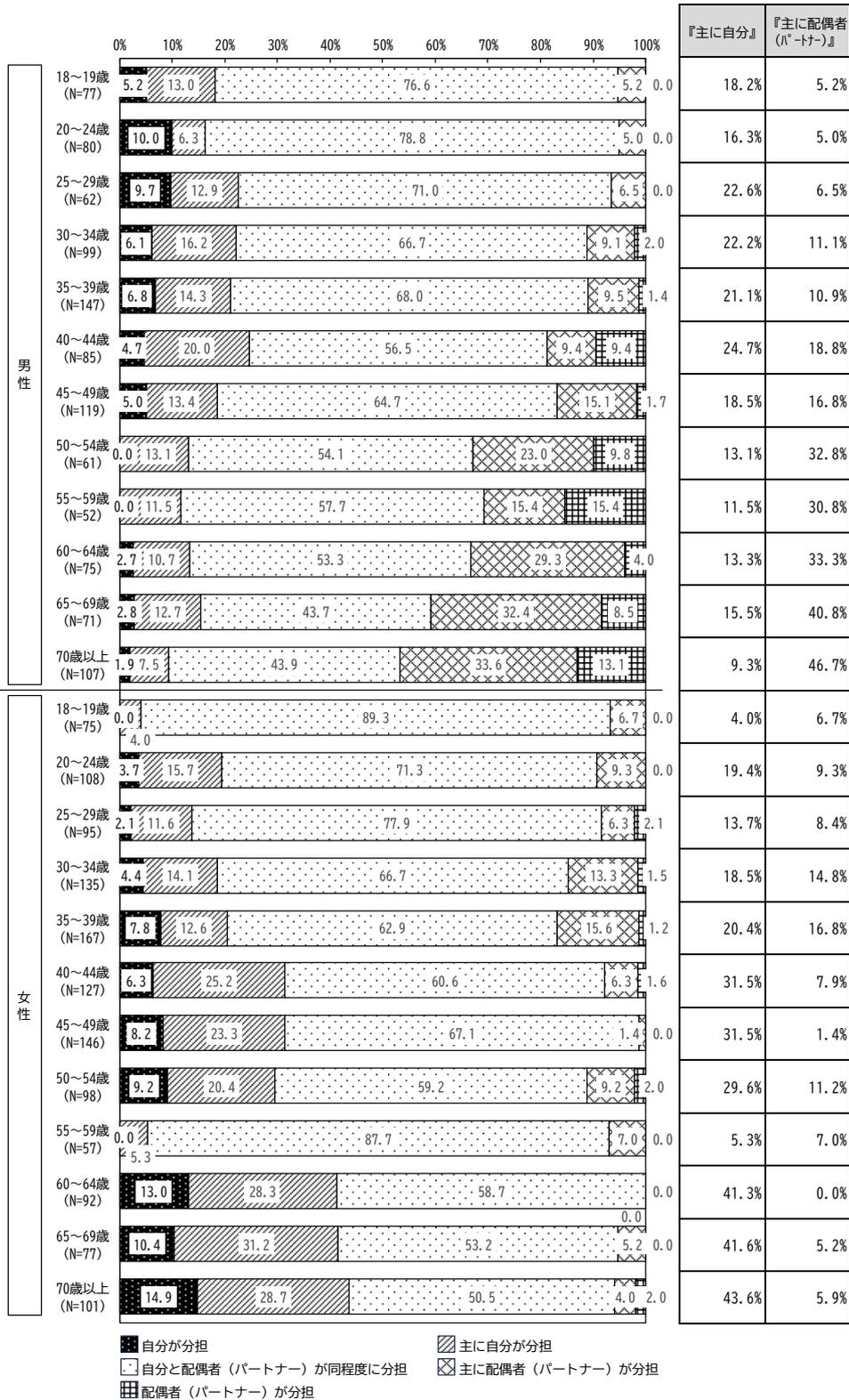
女性では、「いつもする」が最も多く 79.0%、次いで「時々する」が 17.0%、「ほとんどしない」が 3.4%と続いている。



【性・年代別】（食事の後かたづけ）

《理想》

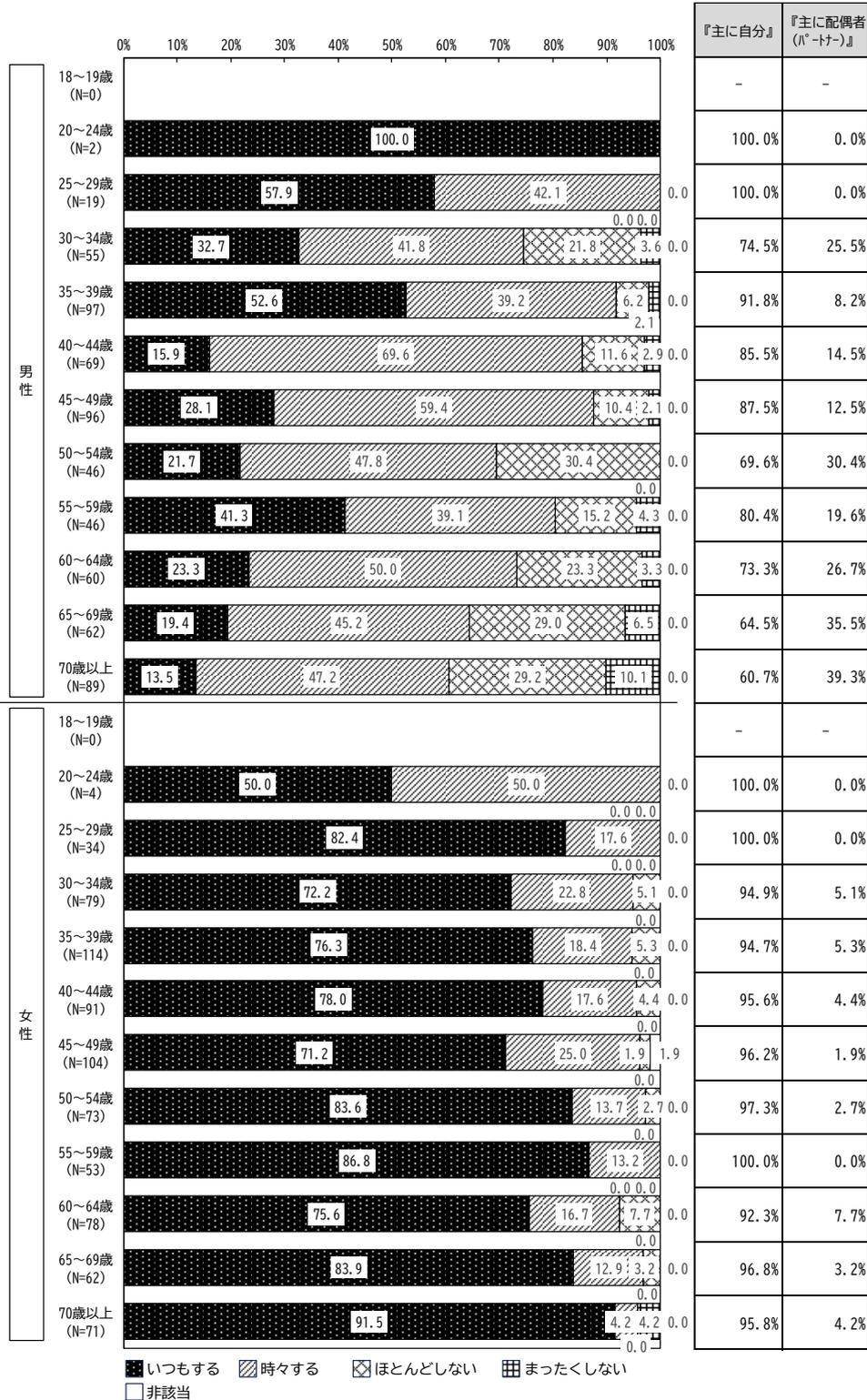
男性、女性ともにどの年代においても「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多くなっている。



《現実》

男性では、20～29歳、35～39歳、55～59歳は「いつもする」が、その他の年代は「時々する」が最も多くなっている。

女性では、どの年代においても「いつもする」が最も多くなっている。(20～24歳は「時々する」と同率)

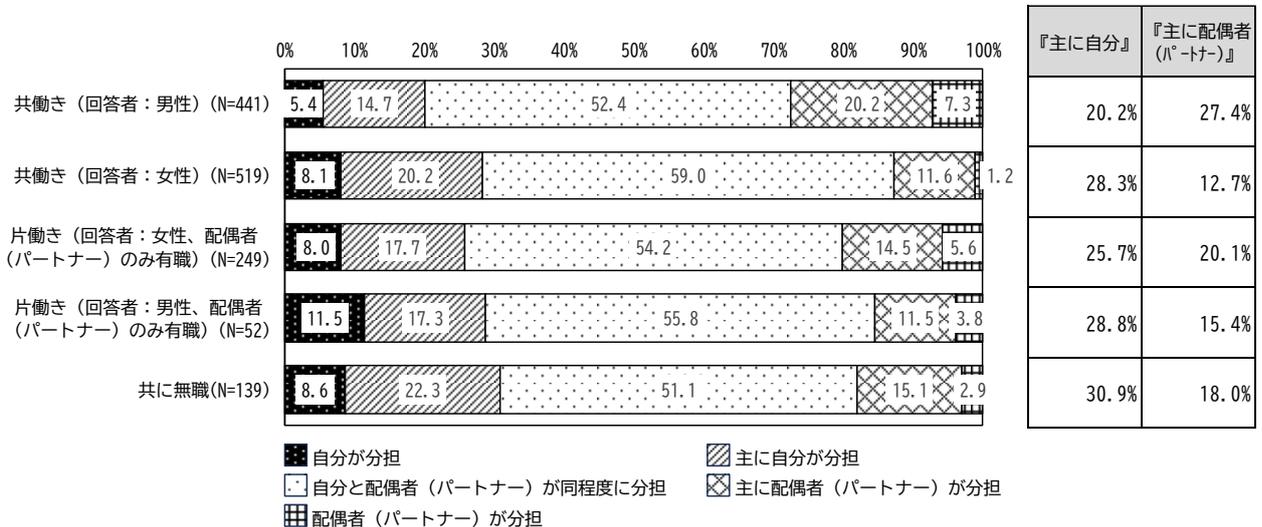


【片働き・共働き別】（食事の後かたづけ）

《理想》

『主に自分』の割合をみると、共に無職が最も多く 30.9%、次いで片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 28.8%と続いている。

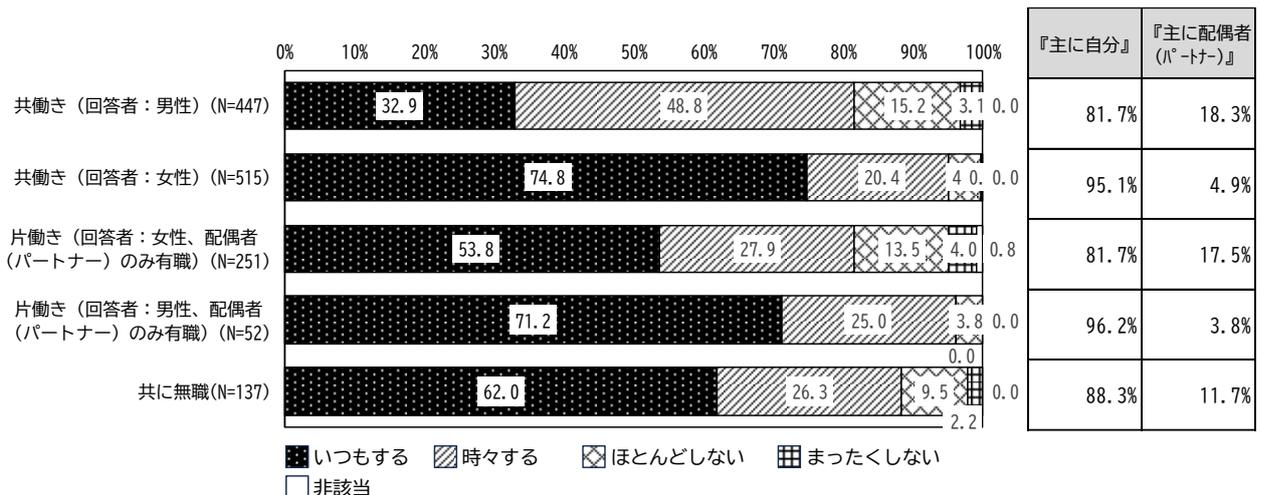
『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く 27.4%、次いで片働き（回答者：女性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 20.1%と続いている。



《現実》

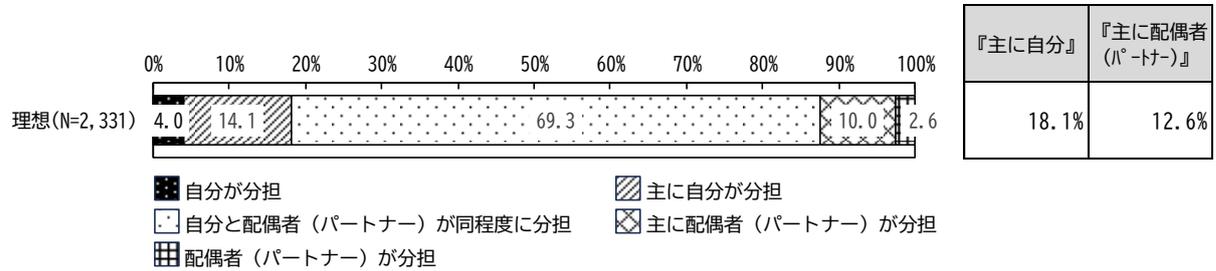
『主に自分』の割合をみると、片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が最も多く 96.2%、次いで共働き（回答者：女性）が 95.1%と続いている。

『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く 18.3%、次いで片働き（回答者：女性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 17.5%と続いている。

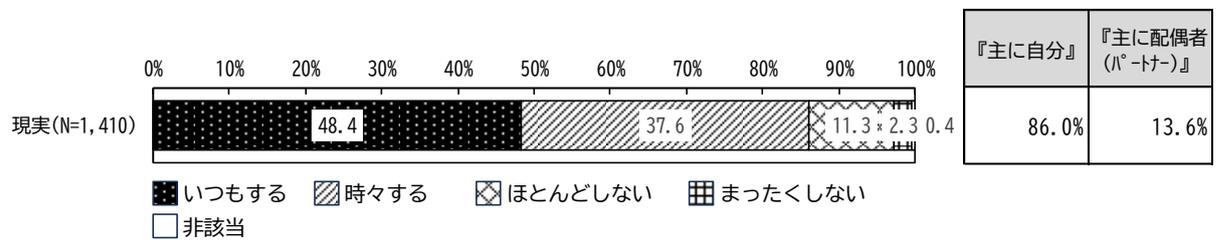


⑤ 掃除

理想では、「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く 69.3%となっている。「自分が分担」と「主に自分が分担」をあわせた『主に自分』は 18.1%、「主に配偶者（パートナー）が分担」と「配偶者（パートナー）が分担」をあわせた『主に配偶者（パートナー）』は 12.6%となっている。



現実では、「いつもする」が最も多く 48.4%、次いで「時々する」が 37.6%、「ほとんどしない」が 11.3%と続いている。

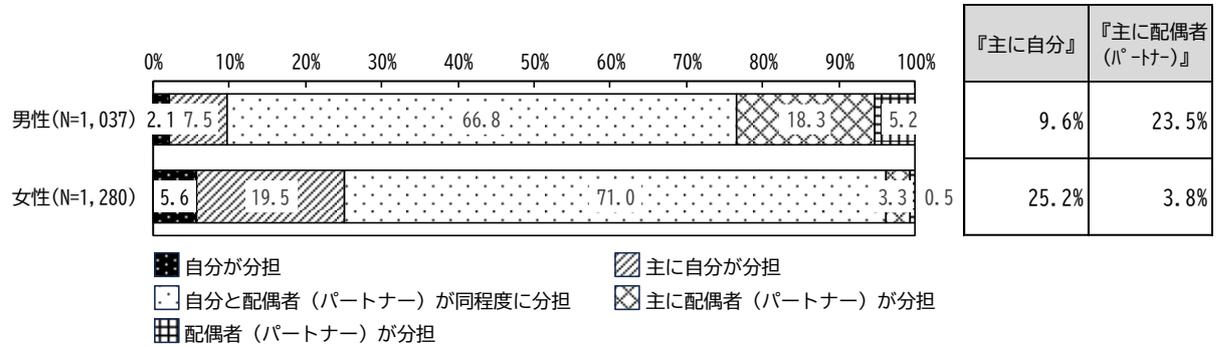


【性別】（掃除）

《理想》

男性、女性ともに「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く、男性が 66.8%、女性が 71.0%となっている。

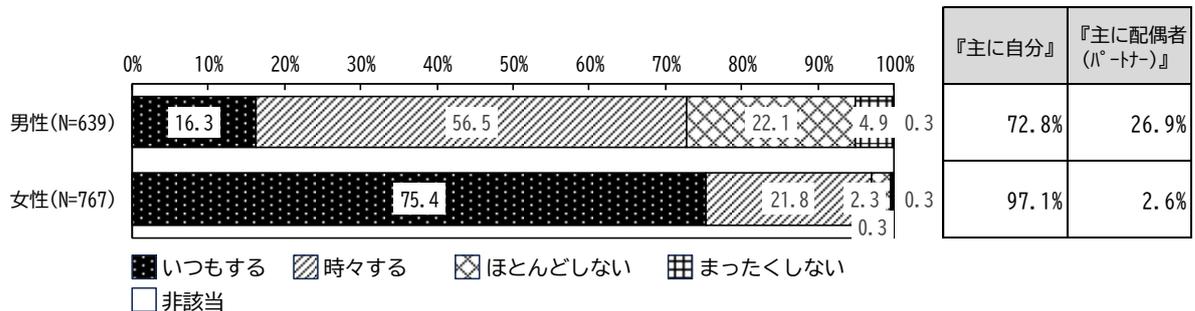
『主に自分』『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、男性、女性ともに大きく差があり、主に女性の役割分担となっている。



《現実》

男性では、「時々する」が最も多く 56.5%、次いで「ほとんどしない」が 22.1%、「いつもする」が 16.3%と続いている。

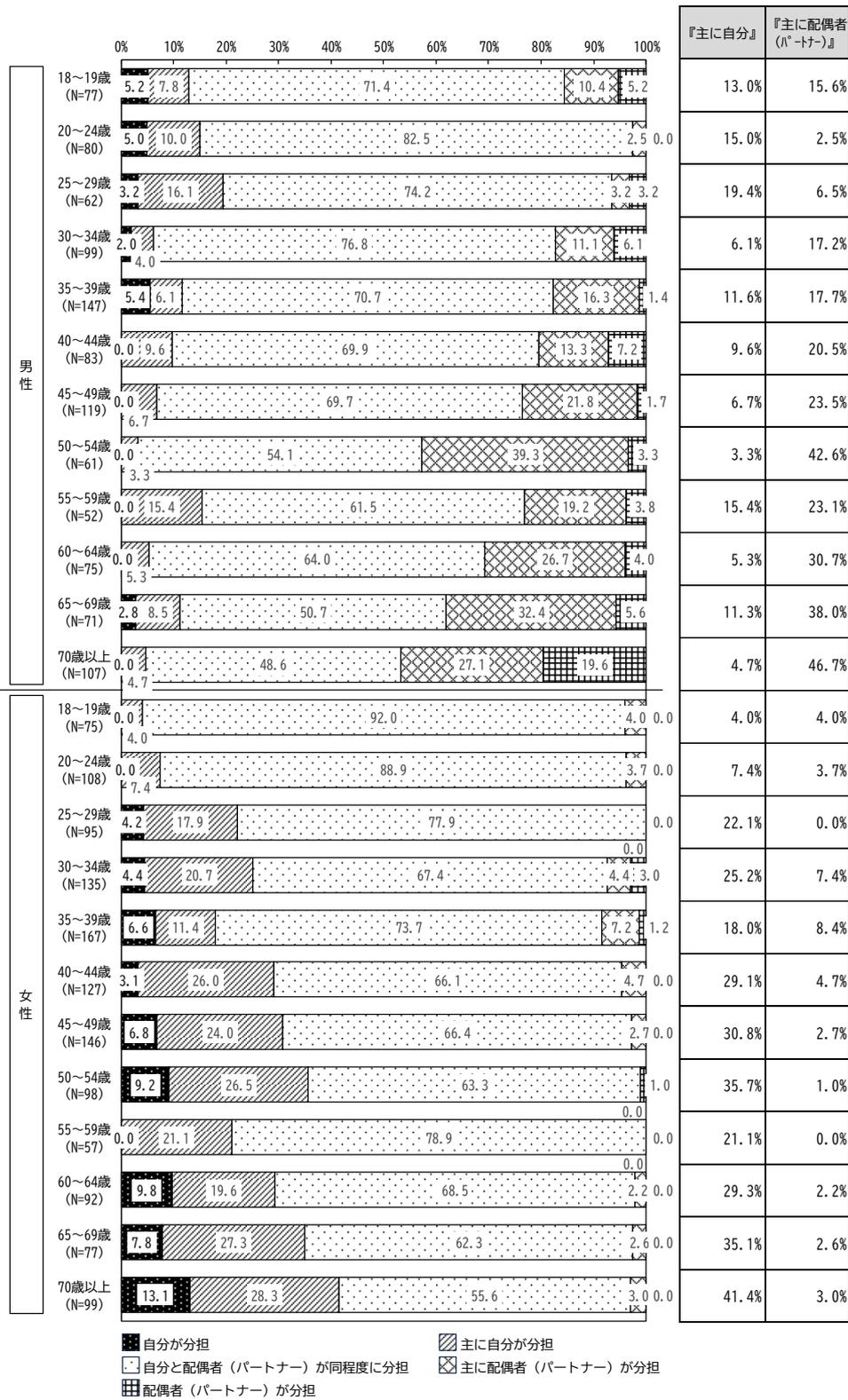
女性では、「いつもする」が最も多く 75.4%、次いで「時々する」が 21.8%、「ほとんどしない」が 2.3%と続いている。



【性・年代別】（掃除）

《理想》

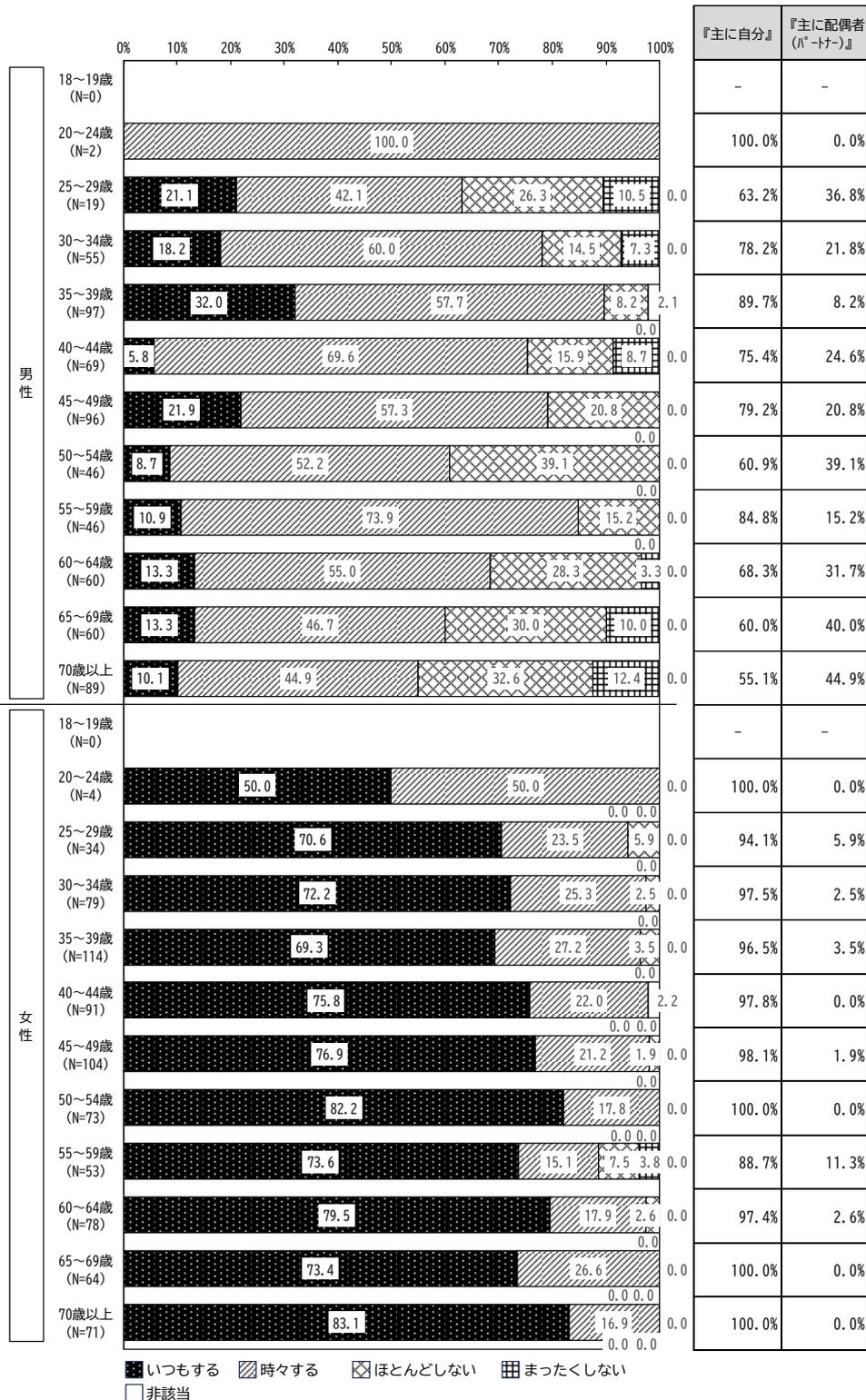
男性、女性ともにどの年代においても「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多くなっている。



《現実》

男性では、どの年代においても「時々する」が最も多くなっている。

女性では、どの年代においても「いつもする」が最も多くなっている。(20～24歳は「時々する」と同率)

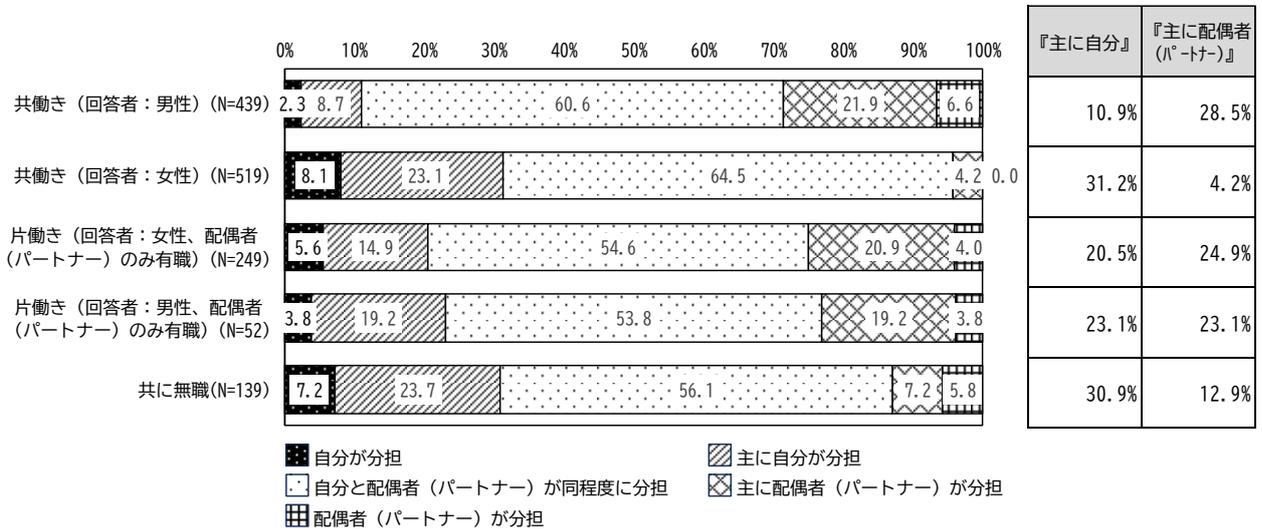


【片働き・共働き別】（掃除）

《理想》

『主に自分』の割合をみると、共に無職が最も多く 30.9%、次いで共働き（回答者：女性）が 31.2%と続いている。

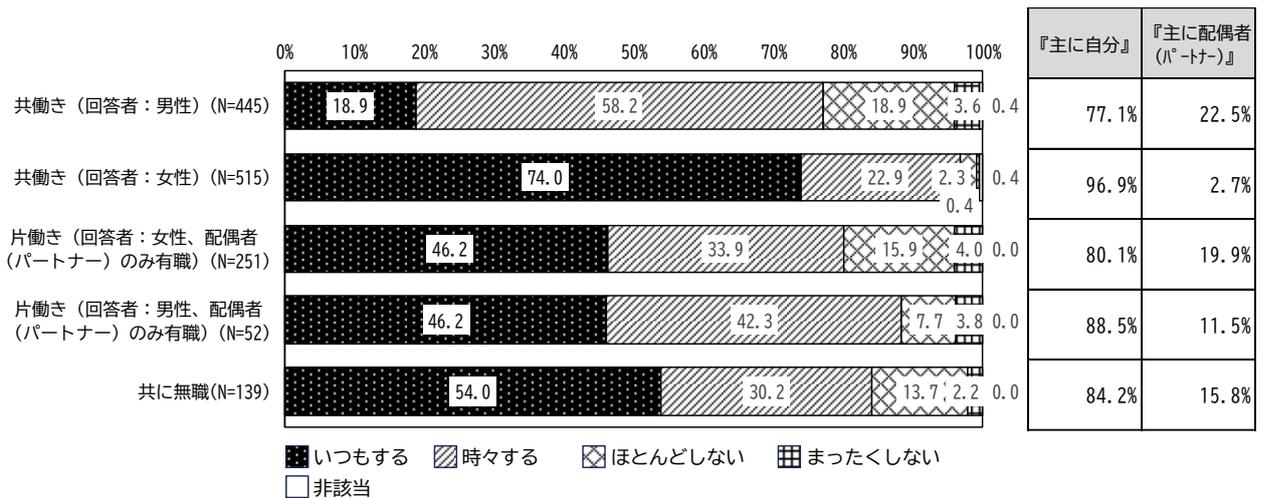
『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く 28.5%、次いで片働き（回答者：女性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 24.9%と続いている。



《現実》

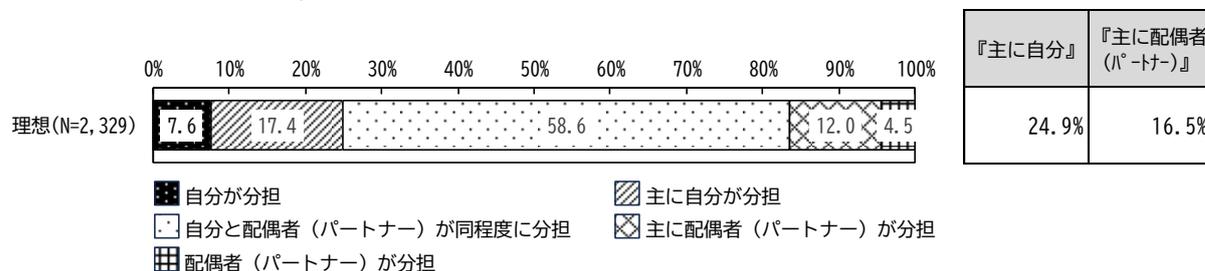
『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：女性）が最も多く 96.9%、次いで片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 88.5%と続いている。

『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く 22.5%、次いで片働き（回答者：女性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 19.9%と続いている。

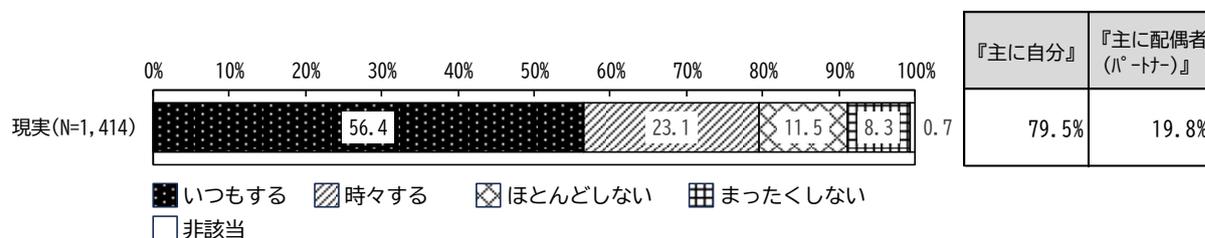


⑥ 洗濯

理想では、「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く 58.6%となっている。「自分が分担」と「主に自分が分担」をあわせた『主に自分』は 24.9%、「主に配偶者（パートナー）が分担」と「配偶者（パートナー）が分担」をあわせた『主に配偶者（パートナー）』は 16.5%となっている。



現実では、「いつもする」が最も多く 56.4%、次いで「時々する」が 23.1%、「ほとんどしない」が 11.5%と続いている。

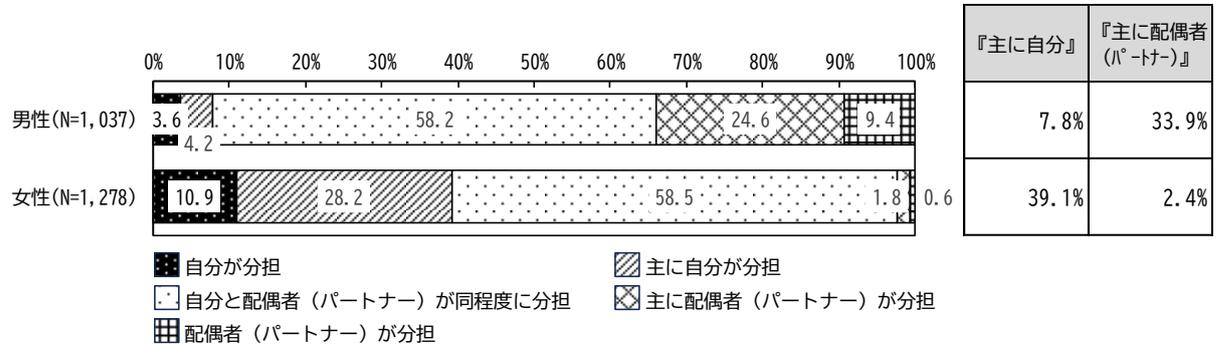


【性別】（洗濯）

《理想》

男性、女性ともに「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く、男性が 58.2%、女性が 58.5%となっている。

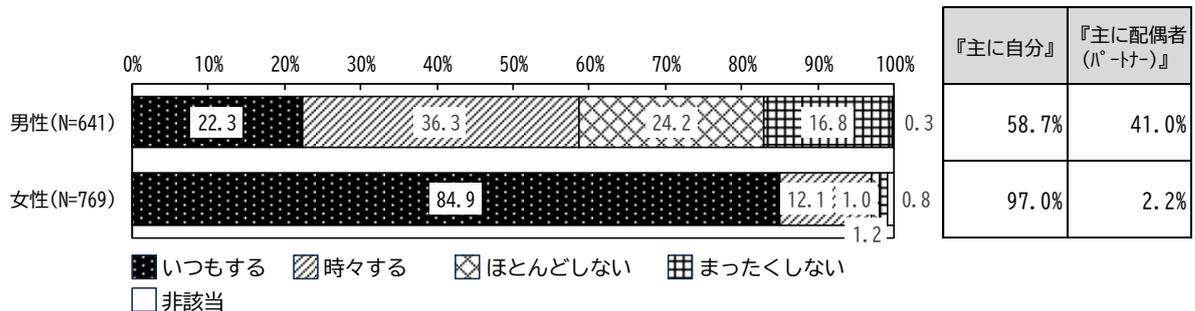
『主に自分』『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、男性、女性ともに大きく差があり、主に女性の役割分担となっている。



《現実》

男性では、「時々する」が最も多く 36.3%、次いで「ほとんどしない」が 24.2%、「いつもする」が 22.3%と続いている。

女性では、「いつもする」が最も多く 84.9%、次いで「時々する」が 12.1%、「まったくしない」が 1.2%と続いている。

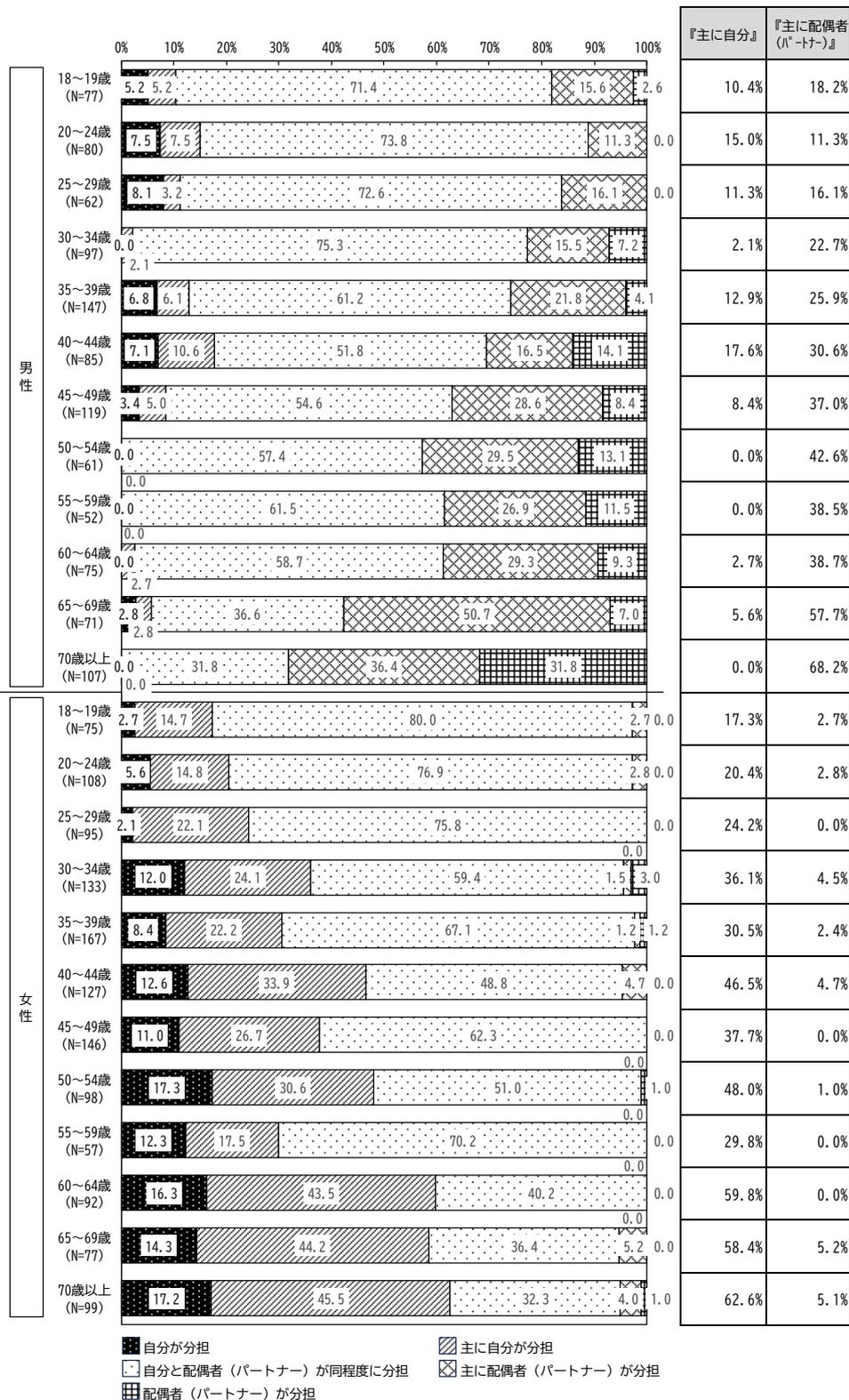


【性・年代別】(洗濯)

《理想》

男性では、18～64歳は「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が、65歳以上は「主に配偶者（パートナー）が分担」が最も多くなっている。

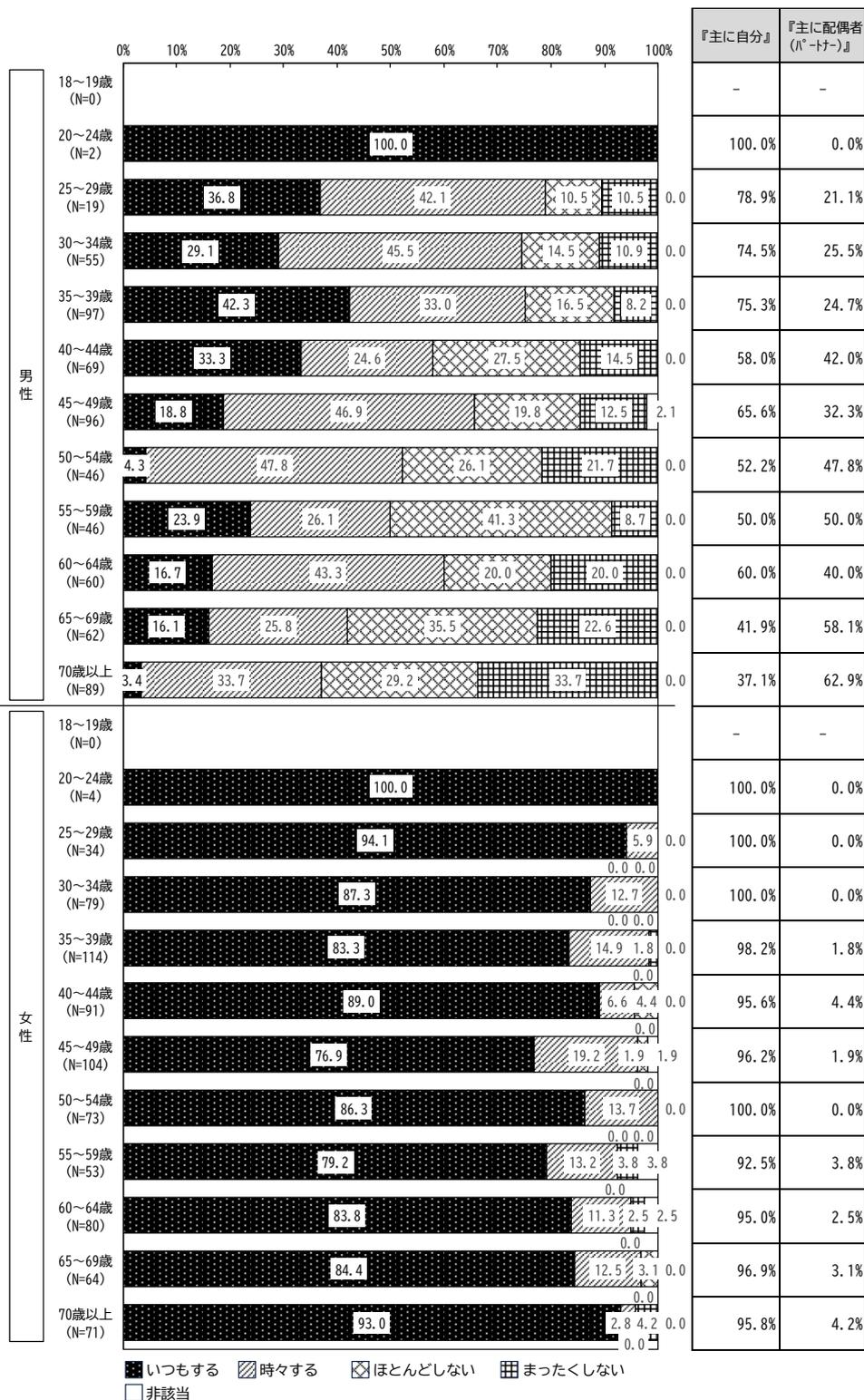
女性では、18～59歳は「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が、60歳以上は「主に自分が分担」が最も多くなっている。



《現実》

男性では、20～24歳、35～44歳は「いつもする」が、55～59歳、65～69歳は「ほとんどしない」が、その他の年代は「時々する」が最も多くなっている。(75歳以上は「まったくしない」と同率)

女性では、どの年代においても「いつもする」が最も多くなっている。

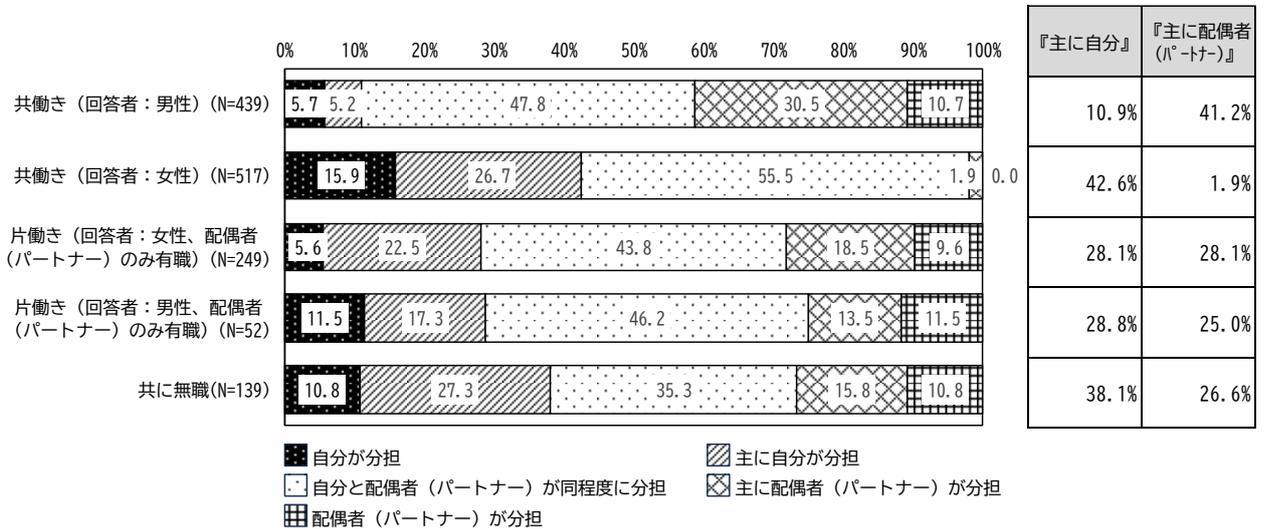


【片働き・共働き別】（洗濯）

《理想》

『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：女性）が最も多く42.6%、次いで共に無職が38.1%と続いている。

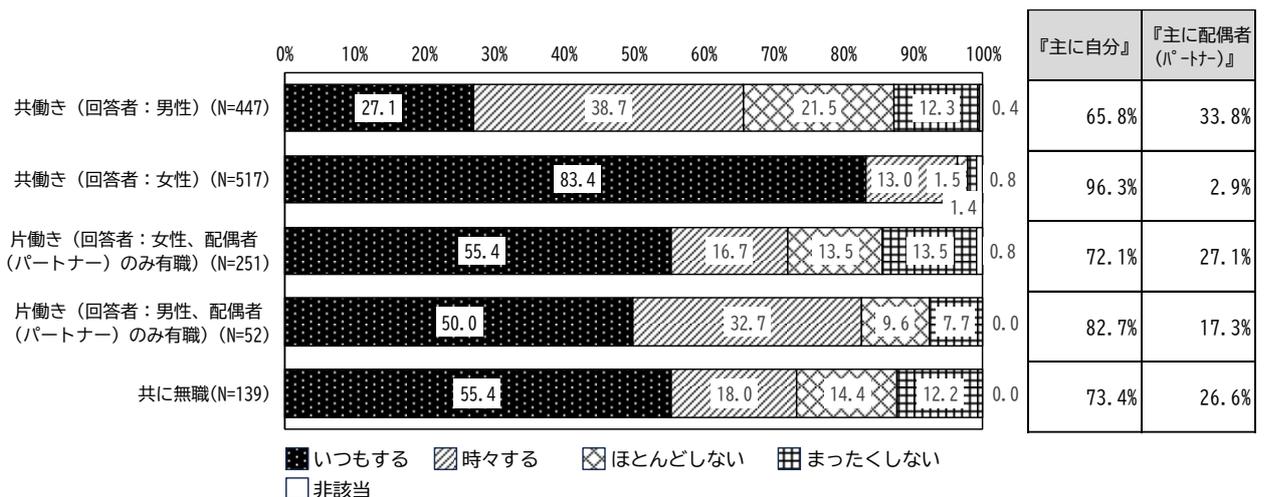
『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く41.2%、次いで片働き（回答者：女性、配偶者（パートナー）のみ有職）が28.1%と続いている。



《現実》

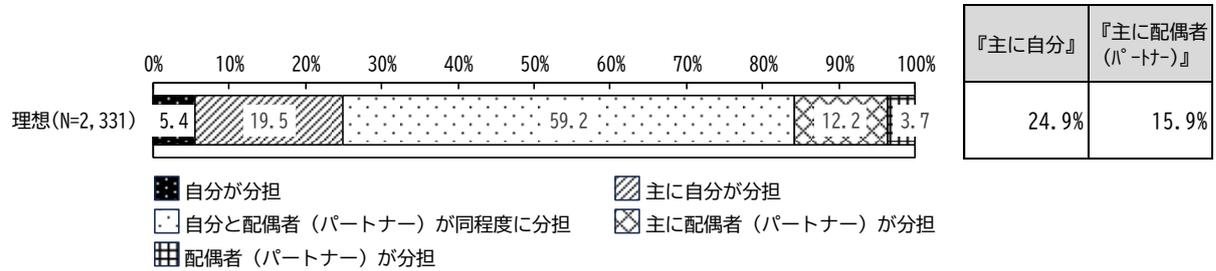
『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：女性）が最も多く96.3%、次いで片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が82.7%と続いている。

『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く33.8%、次いで片働き（回答者：女性、配偶者（パートナー）のみ有職）が27.1%と続いている。

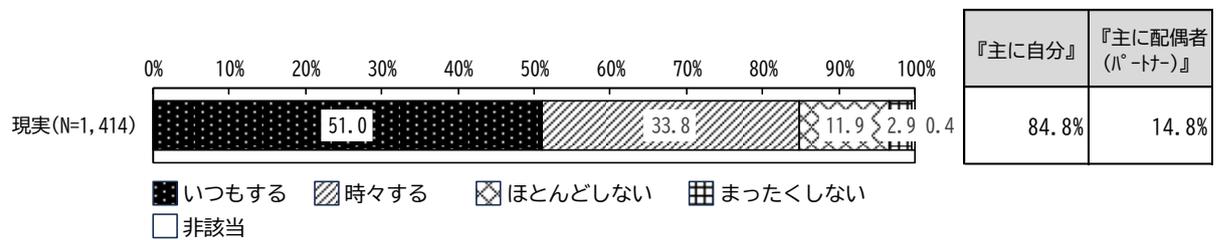


⑦ 日常の買い物

理想では、「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く 59.2%となっている。「自分が分担」と「主に自分が分担」をあわせた『主に自分』は 24.9%、「主に配偶者（パートナー）が分担」と「配偶者（パートナー）が分担」をあわせた『主に配偶者（パートナー）』は 15.9%となっている。



現実では、「いつもする」が最も多く 51.0%、次いで「時々する」が 33.8%、「ほとんどしない」が 11.9%と続いている。

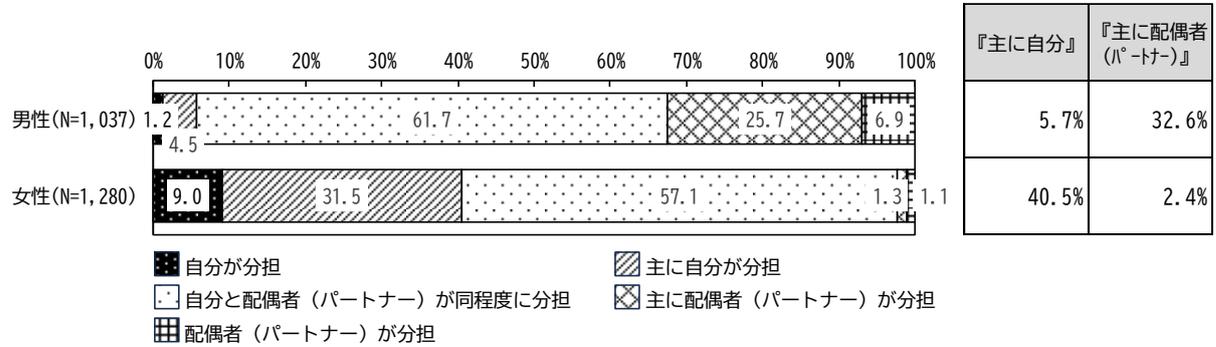


【性別】（日常の買い物）

《理想》

男性、女性ともに「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く、男性が 61.7%、女性が 57.1%となっている。

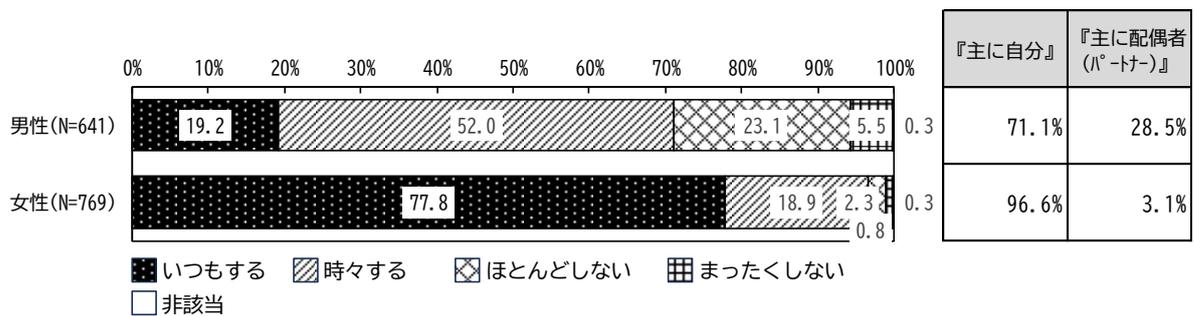
『主に自分』『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、男性、女性ともに大きく差があり、主に女性の役割分担となっている。



《現実》

男性では、「時々する」が最も多く 52.0%、次いで「ほとんどしない」が 23.1%、「いつもする」が 19.2%と続いている。

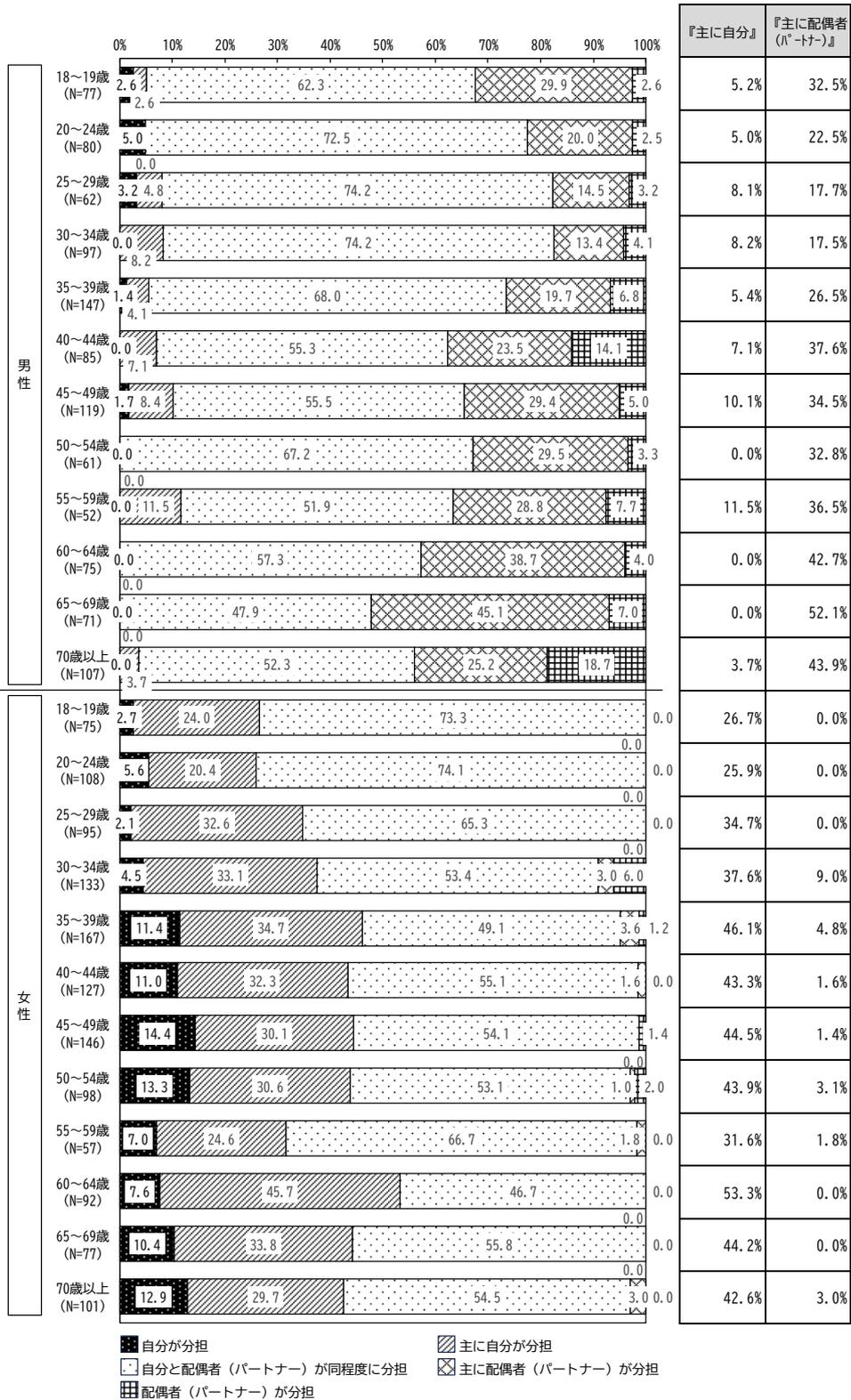
女性では、「いつもする」が最も多く 77.8%、次いで「時々する」が 18.9%、「ほとんどしない」が 2.3%と続いている。



【性・年代別】（日常の買い物）

《理想》

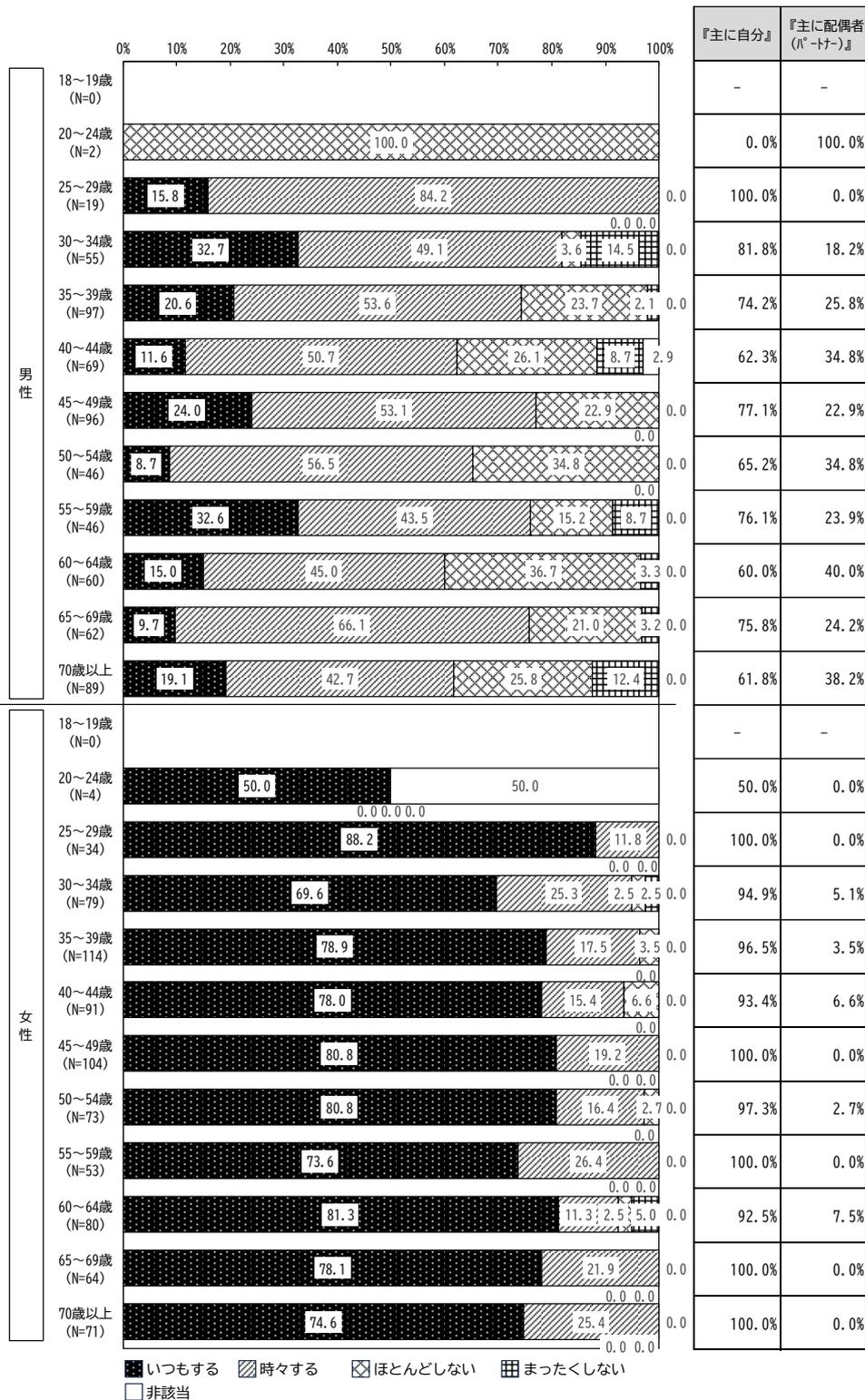
男性、女性ともにどの年代においても「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多くなっている。



《現実》

男性では、20～24歳は「ほとんどしない」が、その他の年代は「時々する」が最も多くなっている。

女性では、どの年代においても「いつもする」が最も多くなっている。(20～24歳は「非該当」と同率)

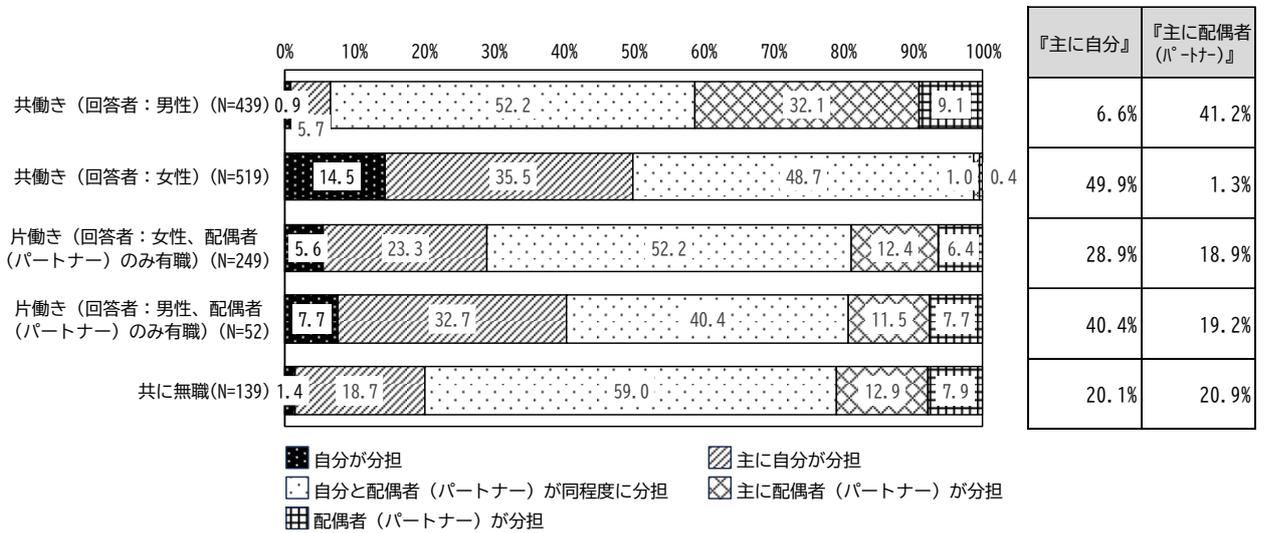


【片働き・共働き別】（日常の買い物）

《理想》

『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：女性）が最も多く 49.9%、次いで片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 40.4%と続いている。

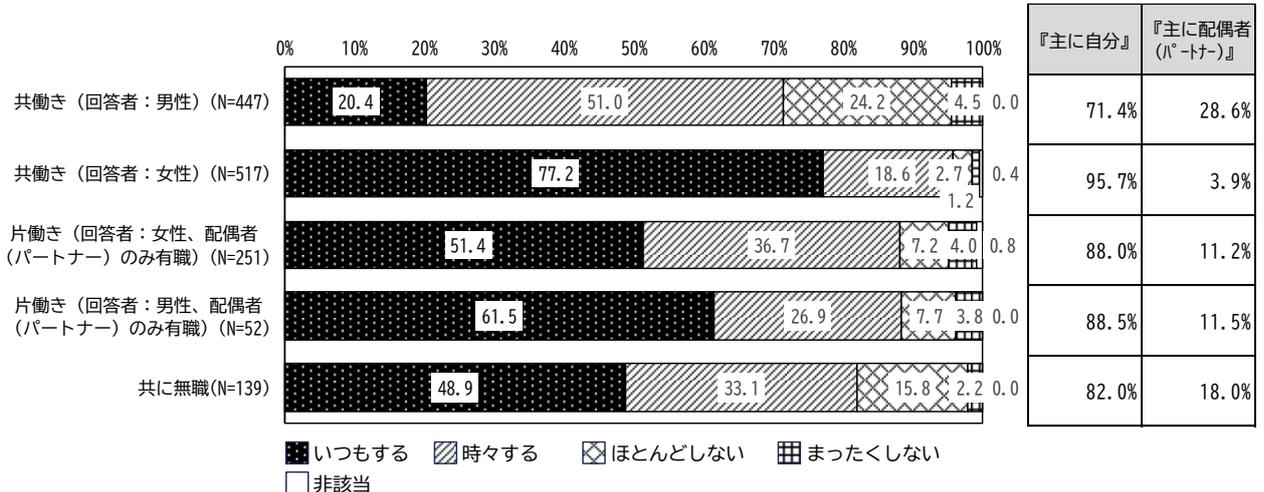
『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く 41.2%、次いで共に無職が 20.9%と続いている。



《現実》

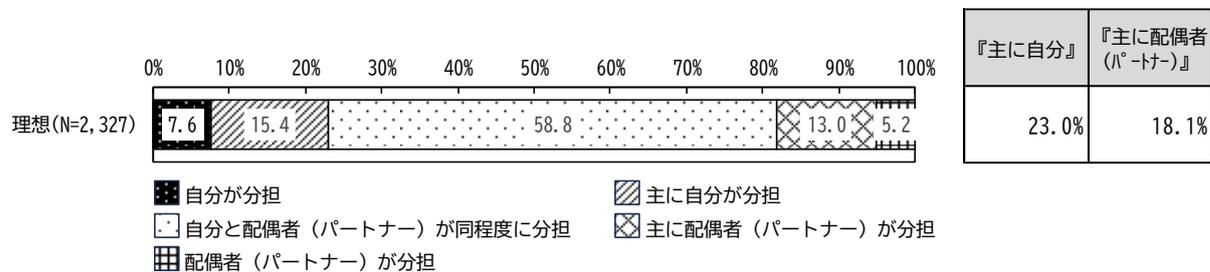
『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：女性）が最も多く 95.7%、次いで片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 88.5%と続いている。

『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く 28.6%、次いで共に無職が 18.0%と続いている。

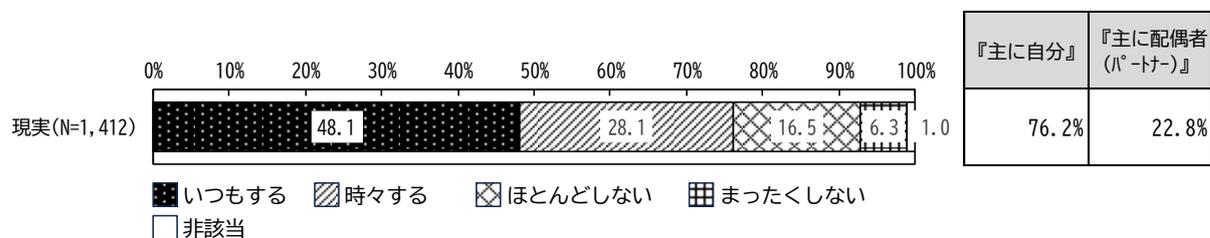


⑧ ゴミ出し

理想では、「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く 58.8%となっている。「自分が分担」と「主に自分が分担」をあわせた『主に自分』は 23.0%、「主に配偶者（パートナー）が分担」と「配偶者（パートナー）が分担」をあわせた『主に配偶者（パートナー）』は 18.1%となっている。



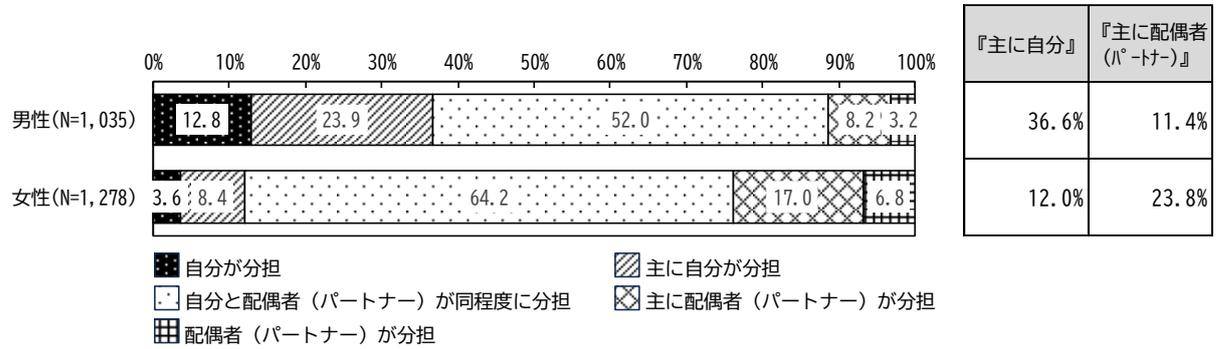
現実では、「いつもする」が最も多く 48.1%、次いで「時々する」が 28.1%、「ほとんどしない」が 16.5%と続いている。



【性別】（ゴミ出し）

《理想》

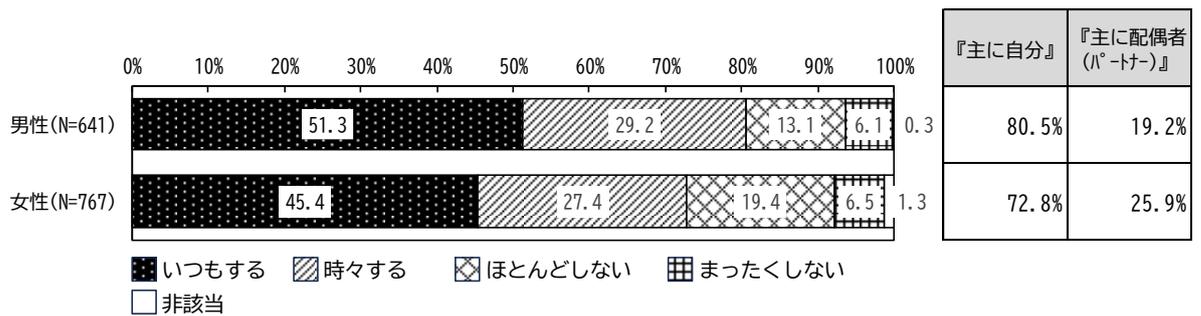
男性、女性ともに「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く、男性が 52.0%、女性が 64.2%となっている。



《現実》

男性では、「いつもする」が最も多く 51.3%、次いで「時々する」が 29.2%、「ほとんどしない」が 13.1%と続いている。

女性では、「いつもする」が最も多く 45.4%、次いで「時々する」が 27.4%、「ほとんどしない」が 19.4%と続いている。

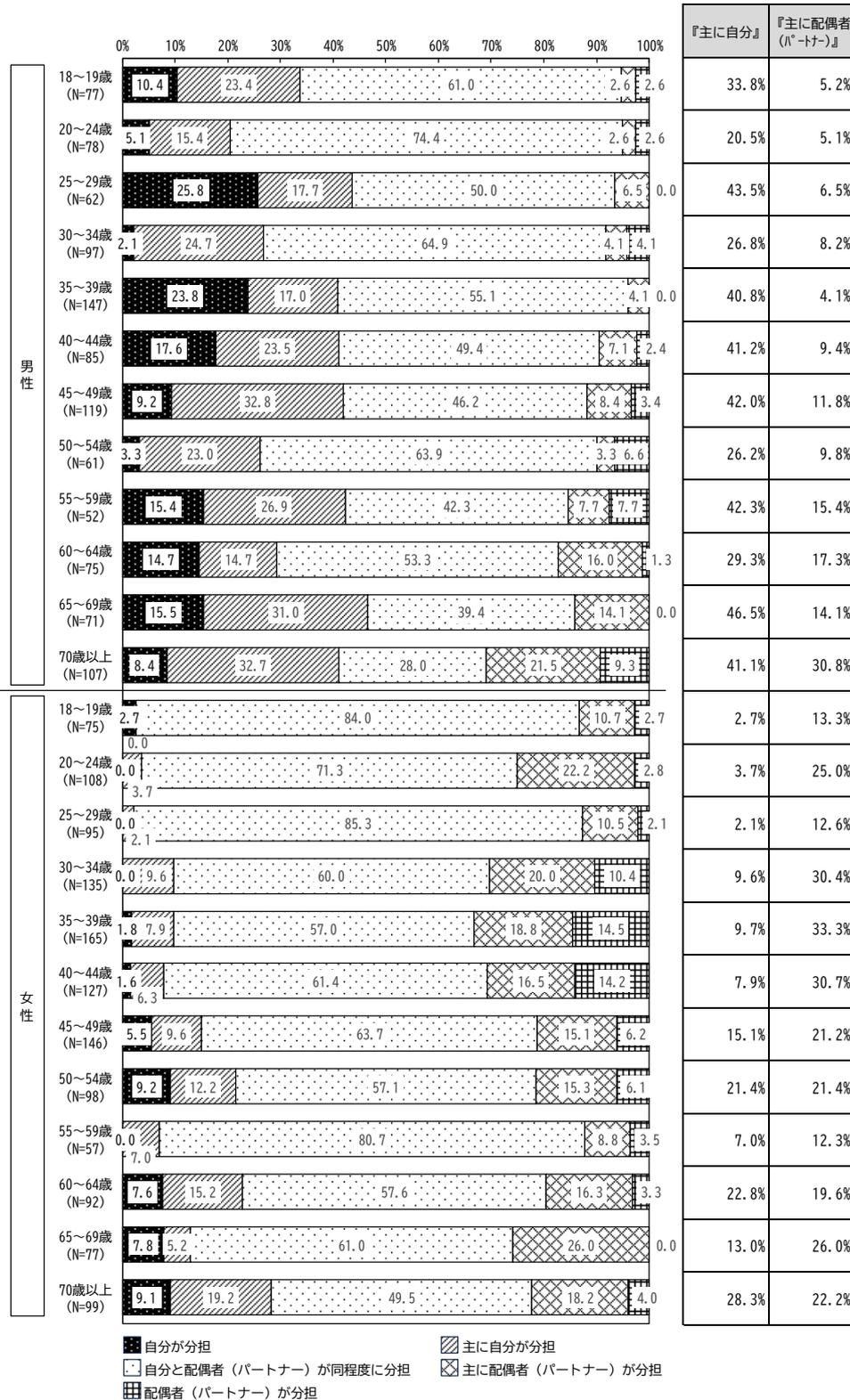


【性・年代別】(ゴミ出し)

《理想》

男性では、18～69歳は「自分と配偶者(パートナー)が同程度に分担」が、70歳以上は「主に自分が分担」が最も多くなっている。

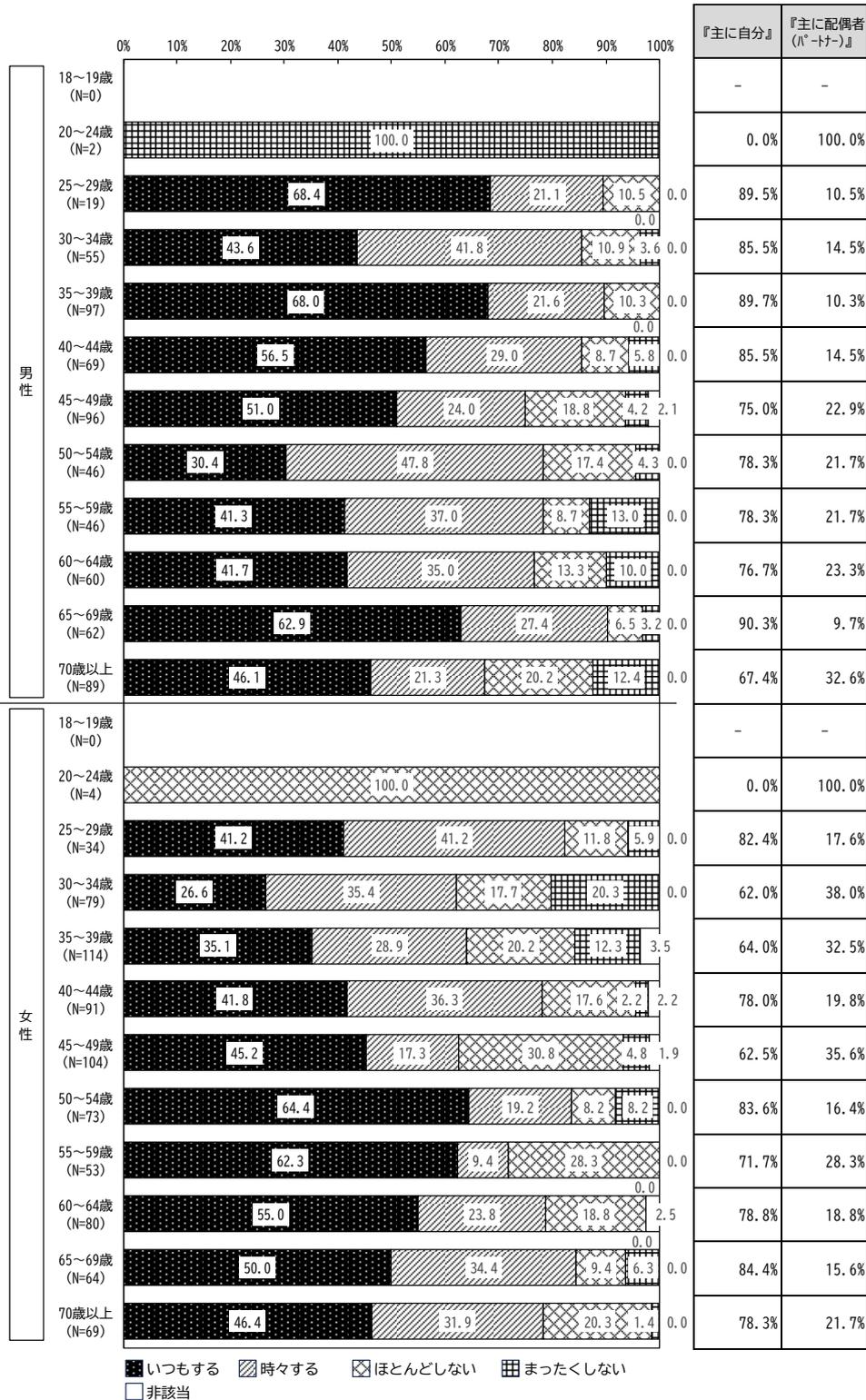
女性では、どの年代においても「自分と配偶者(パートナー)が同程度に分担」が最も多くなっている。



《現実》

男性では、20～24歳は「まったくしない」が、50～54歳は「時々する」が、その他の年代は「いつもする」が最も多くなっている。

女性では、20～24歳は「ほとんどしない」が、25～34歳は「時々する」が、その他の年代は「いつもする」が最も多くなっている。(25～29歳は「いつもする」と同率)

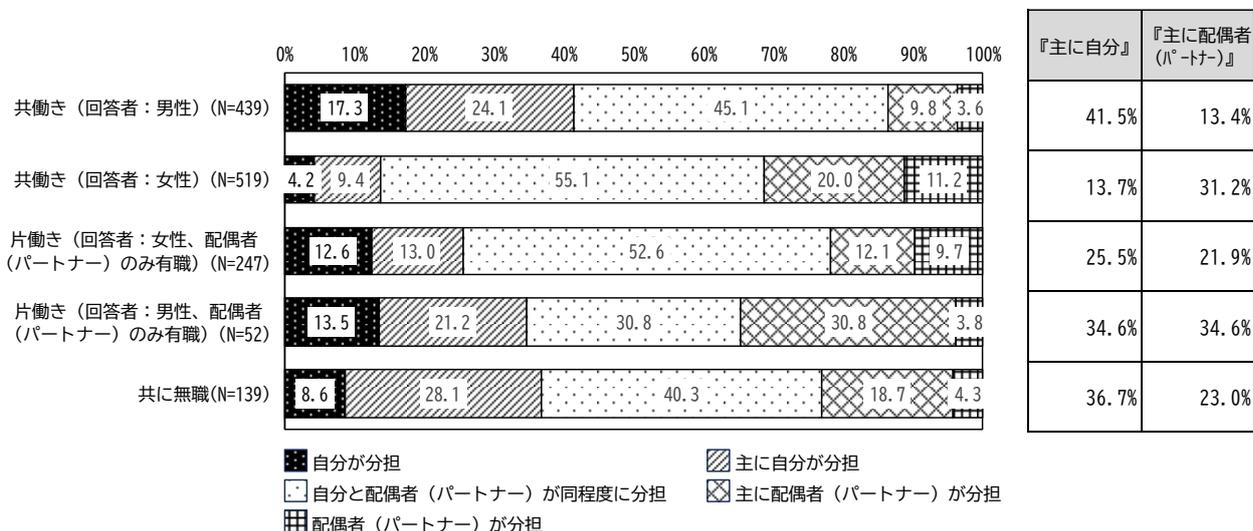


【片働き・共働き別】（ゴミ出し）

《理想》

『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く41.5%、次いで共に無職が36.7%と続いている。

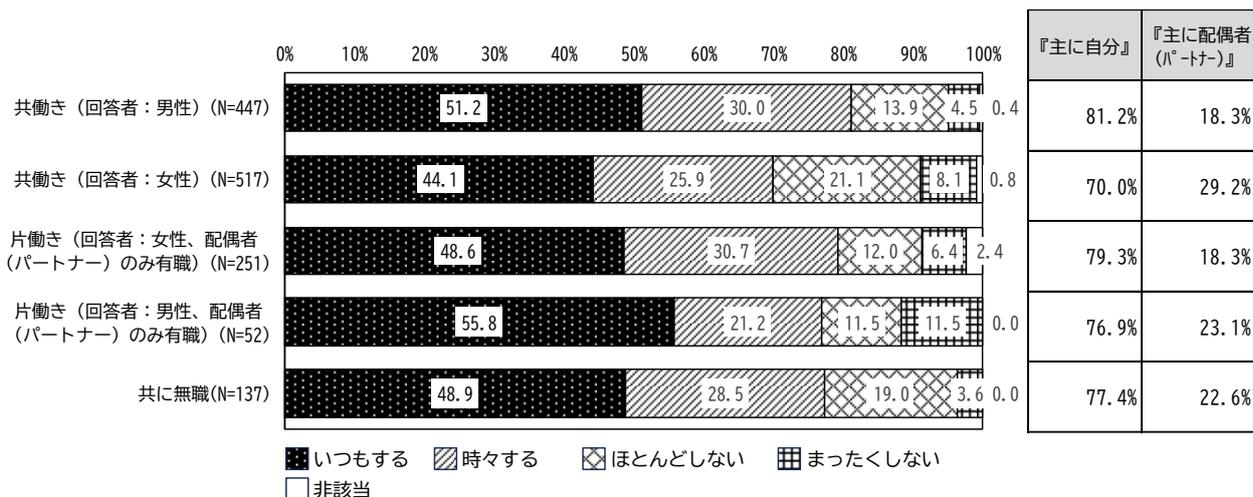
『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が最も多く34.6%、次いで共働き（回答者：女性）が31.2%と続いている。



《現実》

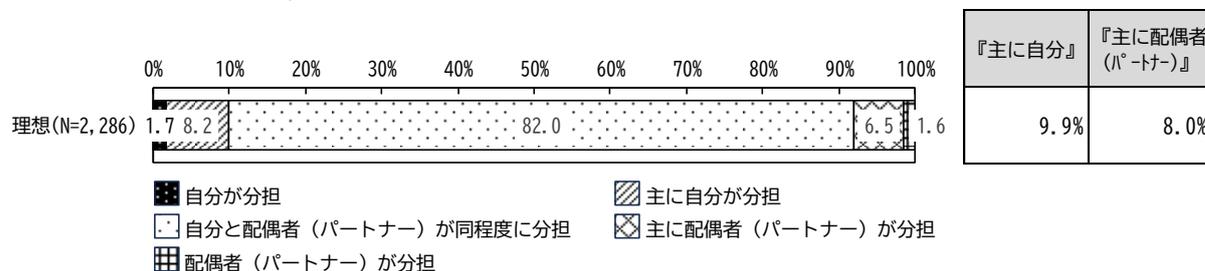
『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く81.2%、次いで片働き（回答者：女性、配偶者（パートナー）のみ有職）が79.3%と続いている。

『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：女性）が最も多く29.2%、次いで片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が23.1%と続いている。

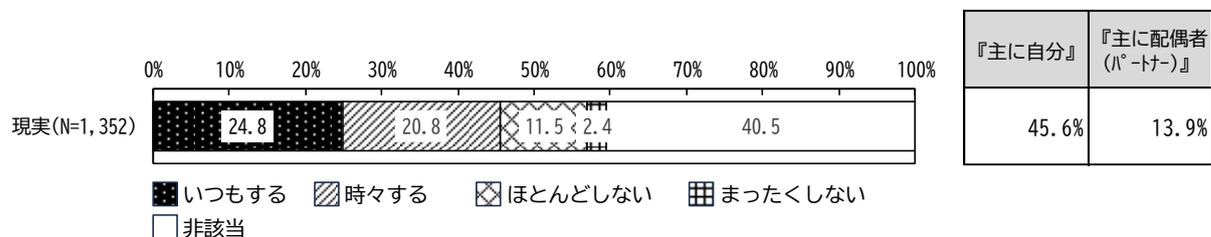


⑨ 介護・看病

理想では、「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く 82.0%となっている。「自分が分担」と「主に自分が分担」をあわせた『主に自分』は 9.9%、「主に配偶者（パートナー）が分担」と「配偶者（パートナー）が分担」をあわせた『主に配偶者（パートナー）』は 8.0%となっている。



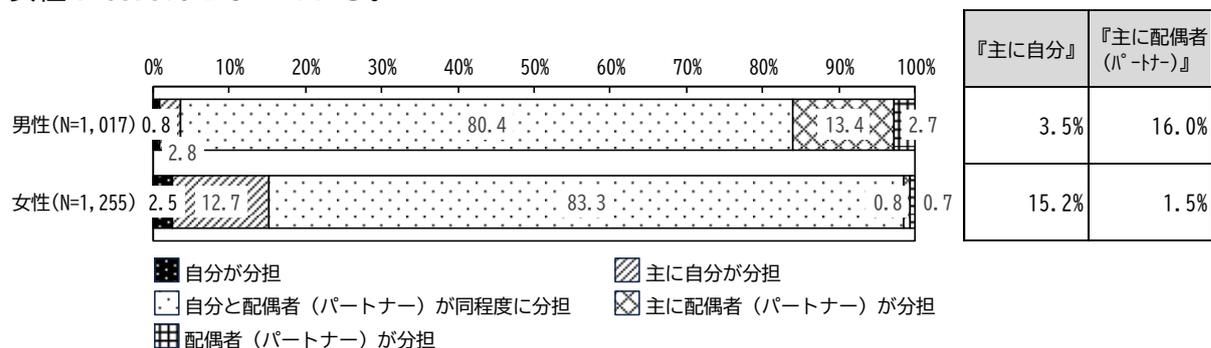
現実では、「非該当」を除いて「いつもする」が最も多く 24.8%、次いで「時々する」が 20.8%、「ほとんどしない」が 11.5%と続いている。



【性別】（介護・看病）

《理想》

男性、女性ともに「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く、男性が 80.4%、女性が 83.3%となっている。

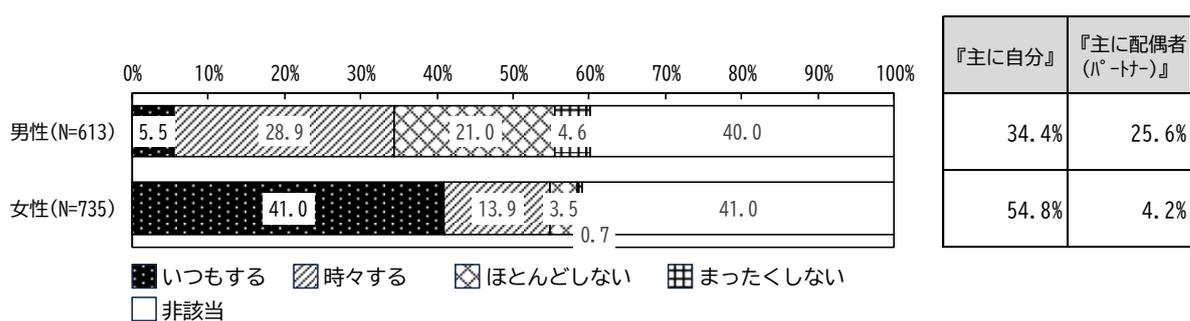


	『主に自分』	『主に配偶者（パートナー）』
男性	3.5%	16.0%
女性	15.2%	1.5%

《現実》

男性では、「非該当」を除いて「時々する」が最も多く 28.9%、次いで「ほとんどしない」が 21.0%、「いつもする」が 5.5%と続いている。

女性では、「非該当」を除いて「いつもする」が最も多く 41.0%、次いで「時々する」が 13.9%、「ほとんどしない」が 3.5%と続いている。

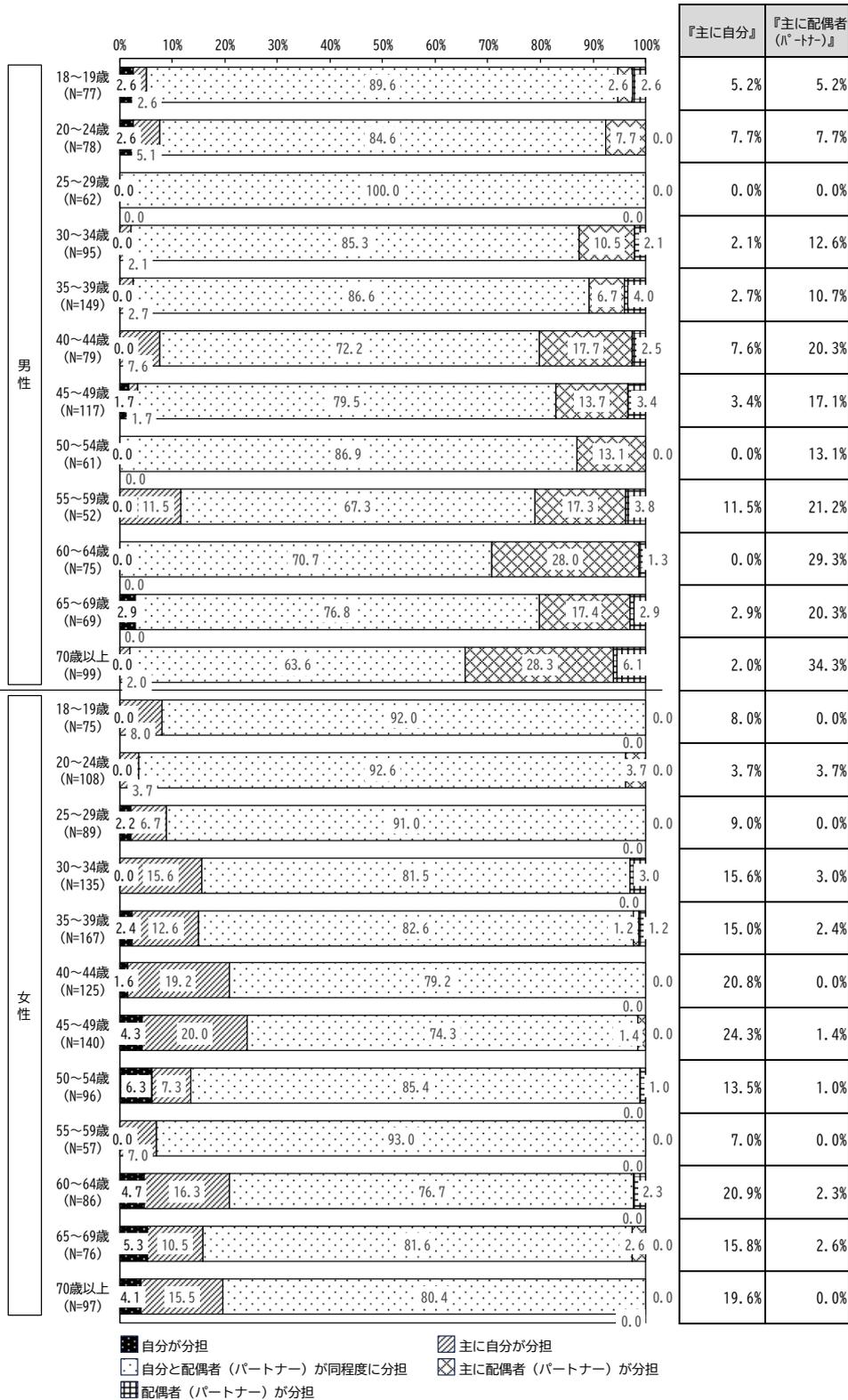


	『主に自分』	『主に配偶者（パートナー）』
男性	34.4%	25.6%
女性	54.8%	4.2%

【性・年代別】（介護・看病）

《理想》

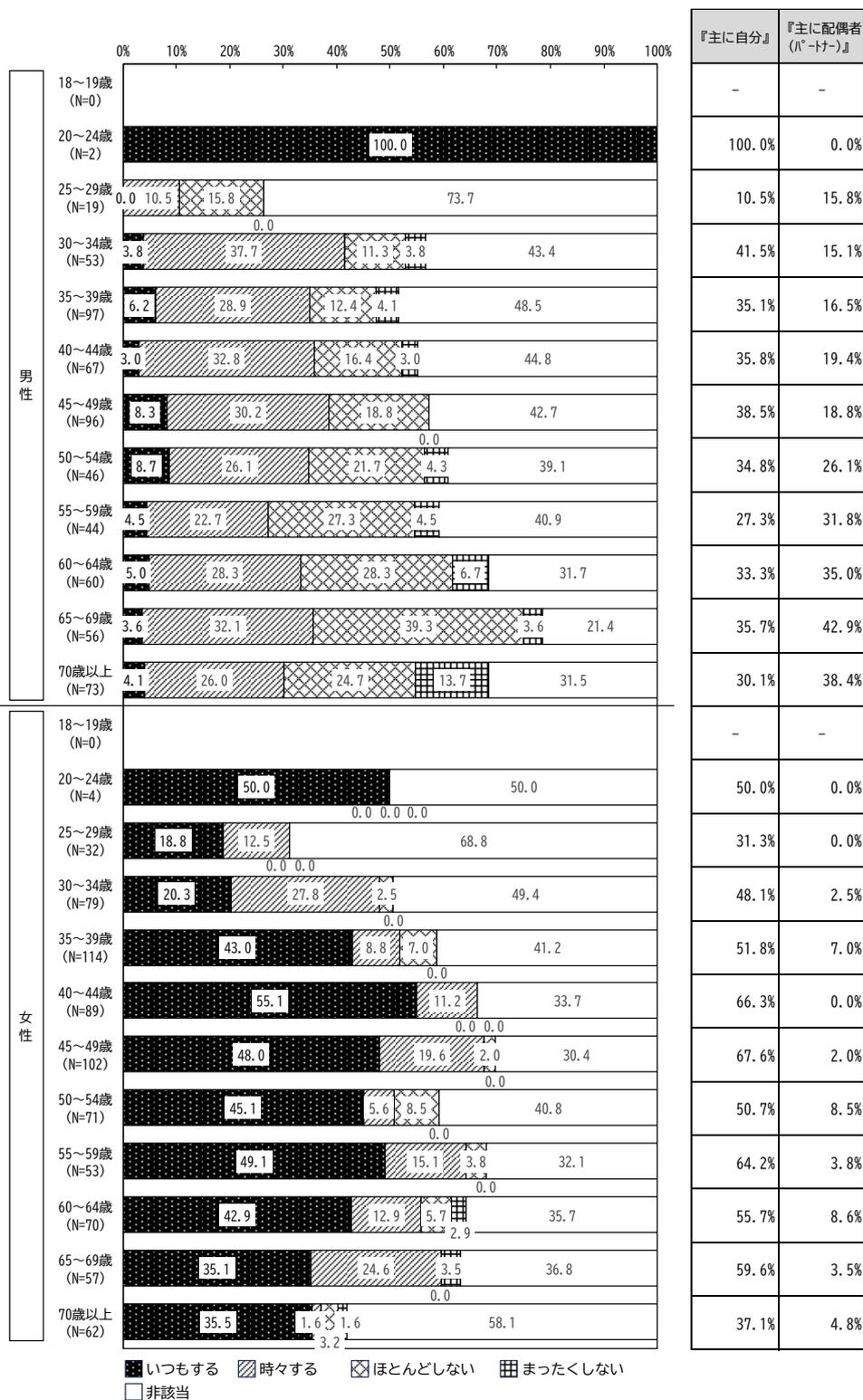
男性、女性ともにどの年代においても「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多くなっている。



《現実》

男性では、「非該当」を除いて20～24歳は「いつもする」が、25～29歳、55～69歳は「ほとんどしない」が、その他の年代は「時々する」が最も多くなっている。(60～64歳は「時々する」と同率)

女性では、「非該当」を除いて30～34歳は「時々する」が、その他の年代は「いつもする」が最も多くなっている。

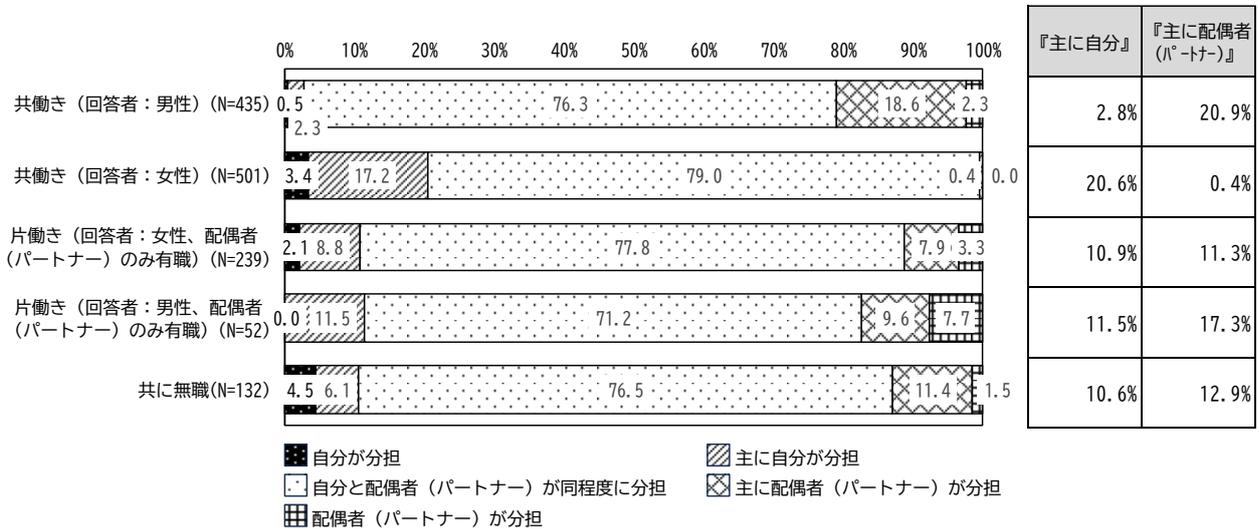


【片働き・共働き別】（介護・看病）

《理想》

『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：女性）が最も多く 20.6%、次いで片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 11.5%と続いている。

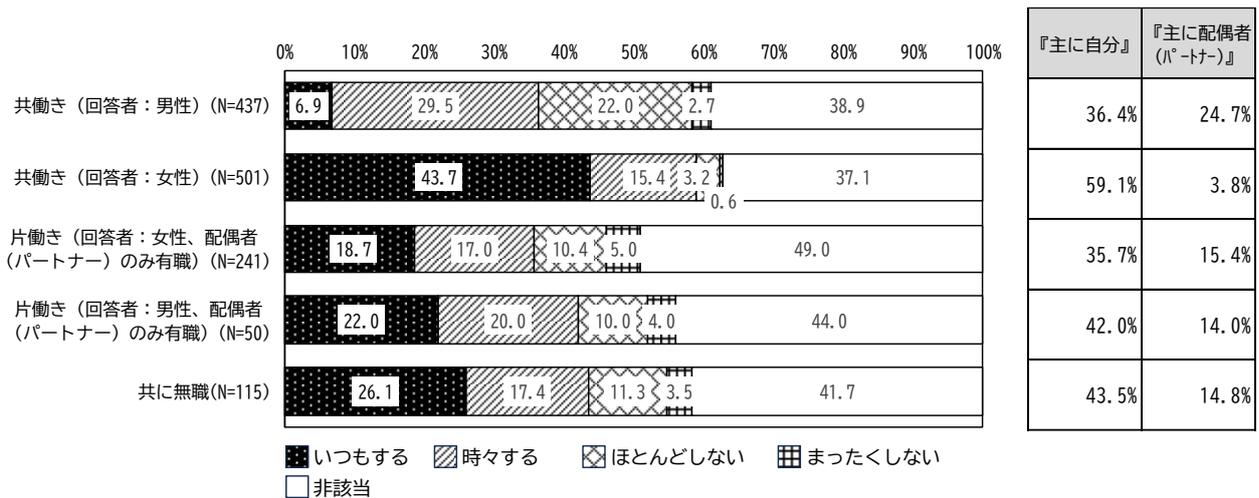
『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く 20.9%、次いで片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 17.3%と続いている。



《現実》

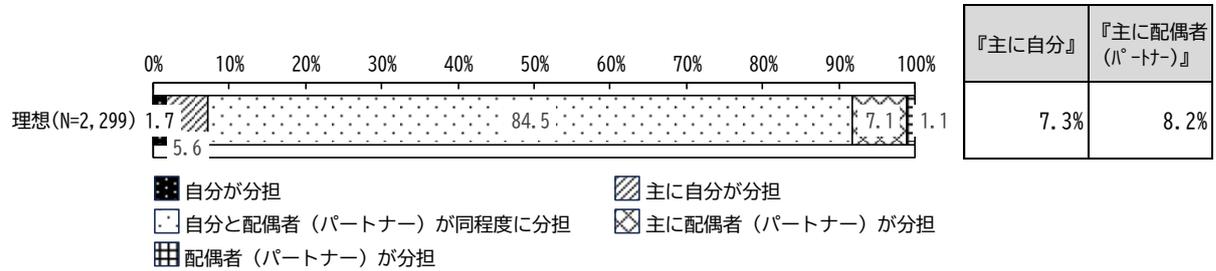
『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：女性）が最も多く 59.1%、次いで共に無職が 43.5%と続いている。

『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く 24.7%、次いで片働き（回答者：女性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 15.4%と続いている。

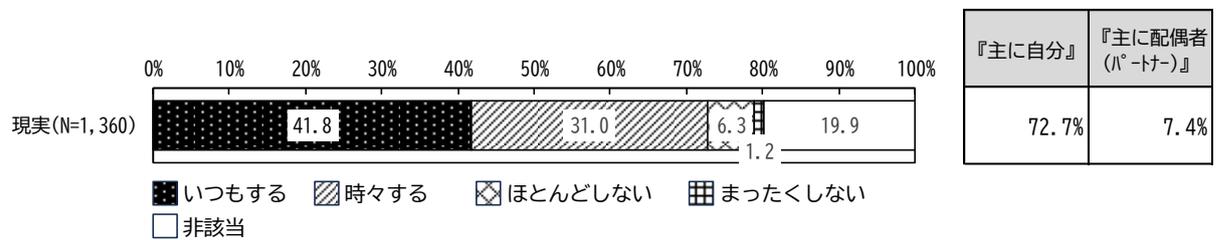


⑩ 子どもの教育としつけ

理想では、「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く 84.5%となっている。「自分が分担」と「主に自分が分担」をあわせた『主に自分』は 7.3%、「主に配偶者（パートナー）が分担」と「配偶者（パートナー）が分担」をあわせた『主に配偶者（パートナー）』は 8.2%となっている。



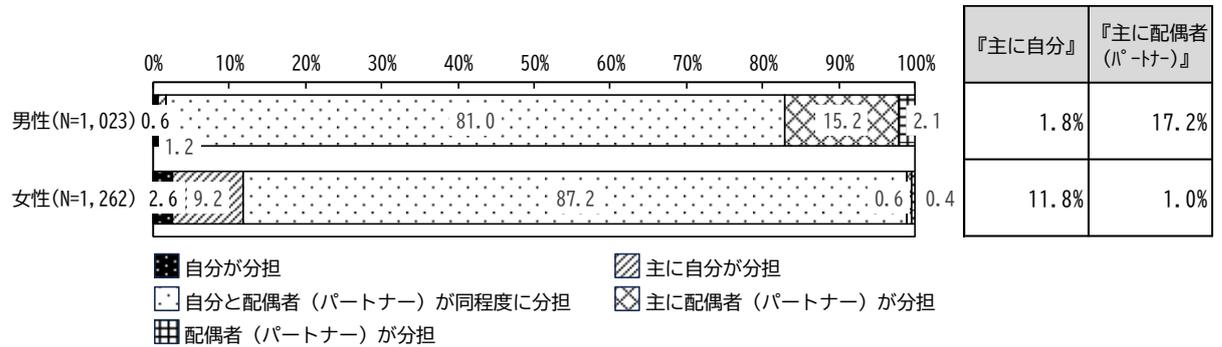
現実では、「非該当」を除いて「いつもする」が最も多く 41.8%、次いで「時々する」が 31.0%、「ほとんどしない」が 6.3%と続いている。



【性別】（子どもの教育としつけ）

《理想》

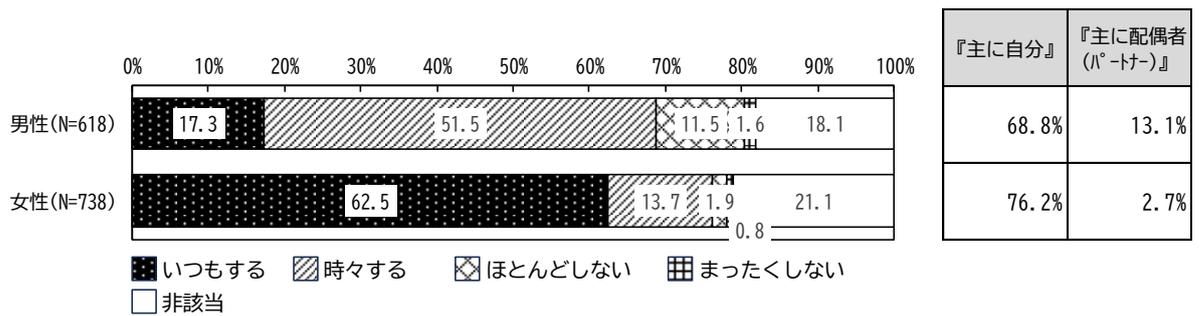
男性、女性ともに「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く、男性が 81.0%、女性が 87.2%となっている。



《現実》

男性では、「非該当」を除いて「時々する」が最も多く 51.5%、次いで「いつもする」が 17.3%、「ほとんどしない」が 11.5%と続いている。

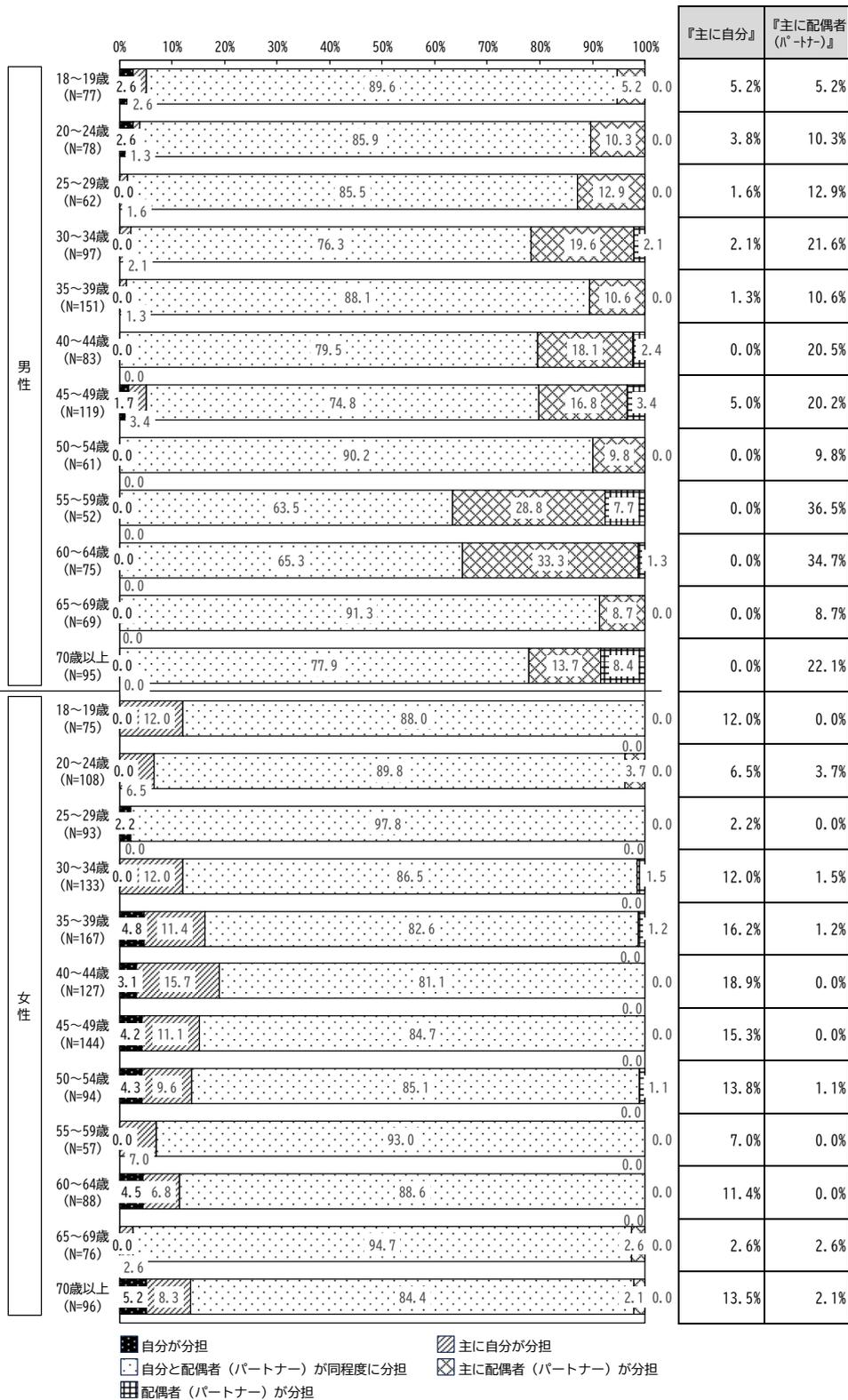
女性では、「非該当」を除いて「いつもする」が最も多く 62.5%、次いで「時々する」が 13.7%、「ほとんどしない」が 1.9%と続いている。



【性・年代別】（子どもの教育としつけ）

《理想》

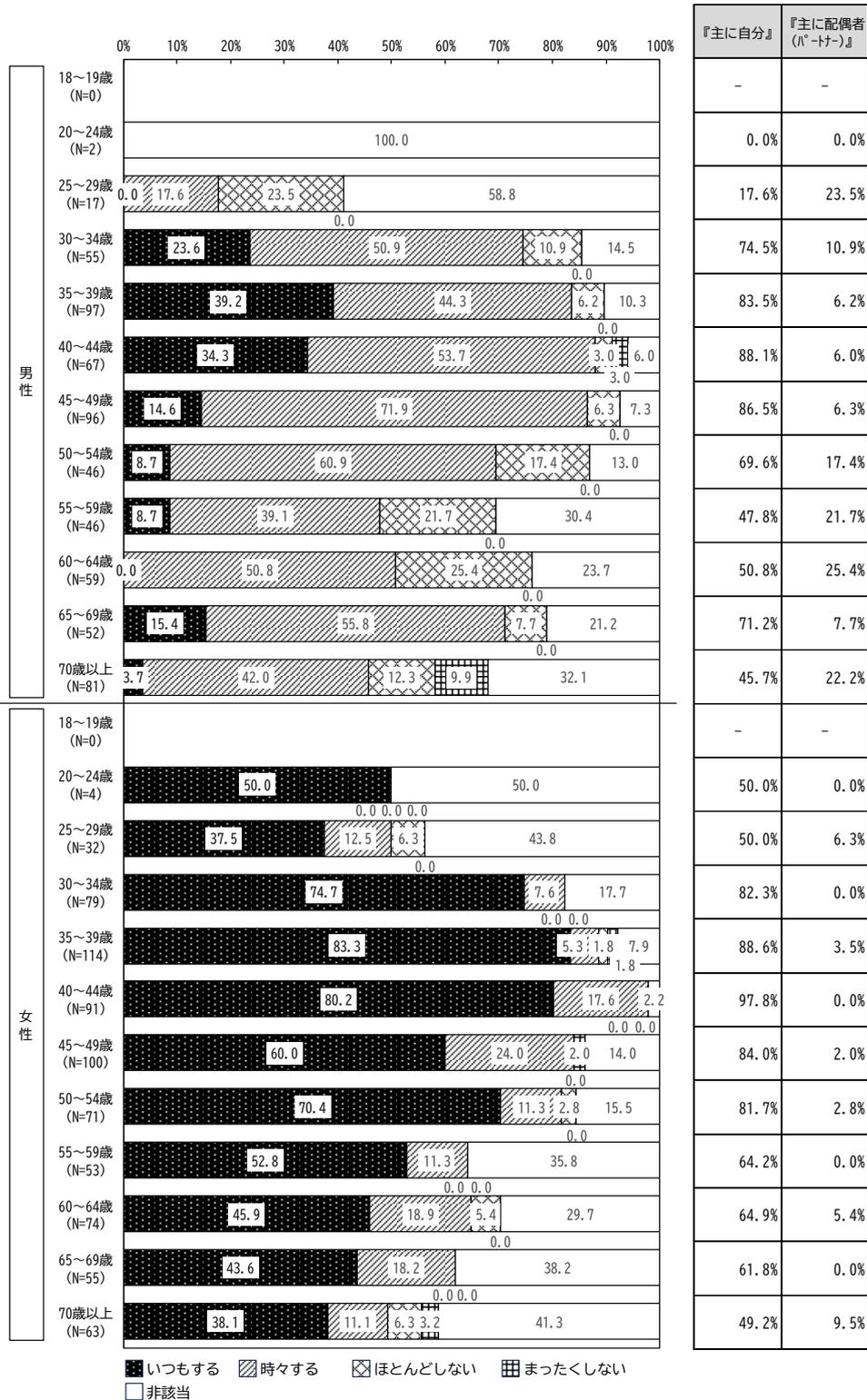
男性、女性ともにどの年代においても「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多くなっている。



《現実》

男性では、「非該当」を除いて25～29歳は「ほとんどしない」が、30歳以上は「時々する」が最も多くなっている。

女性では、「非該当」を除いてどの年代においても「いつもする」が最も多くなっている。

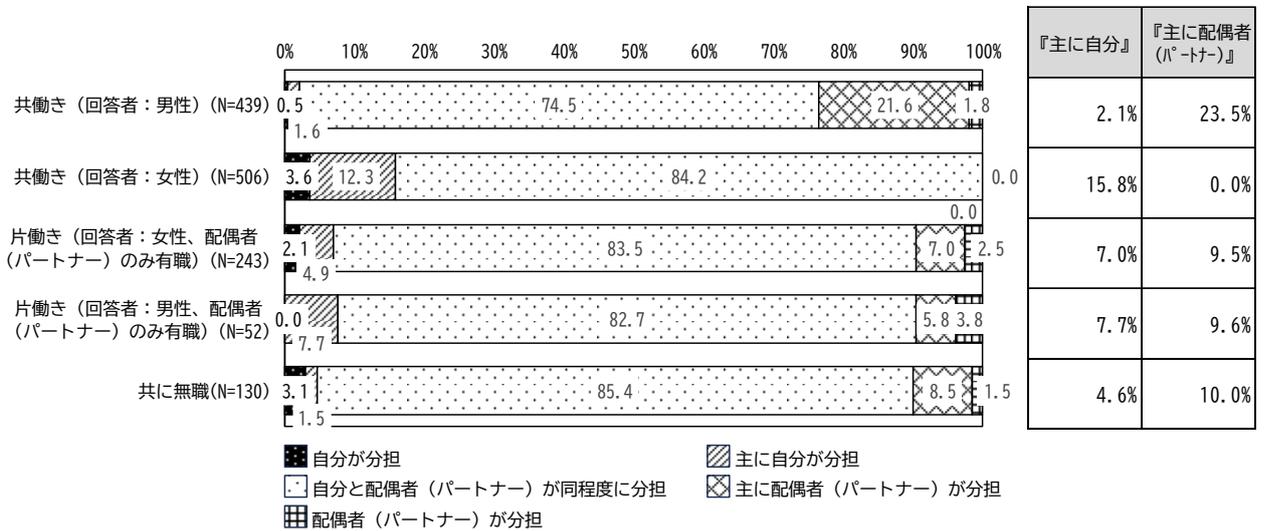


【片働き・共働き別】（子どもの教育としつけ）

《理想》

『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：女性）が最も多く 15.8%、次いで片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が 7.7%と続いている。

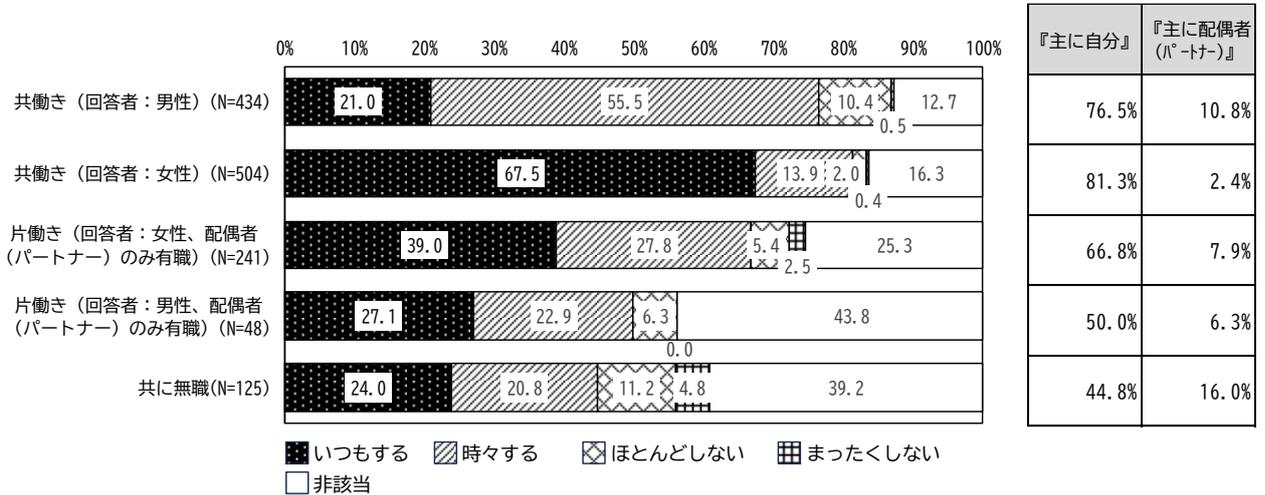
『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く 23.5%、次いで共に無職が 10.0%と続いている。



《現実》

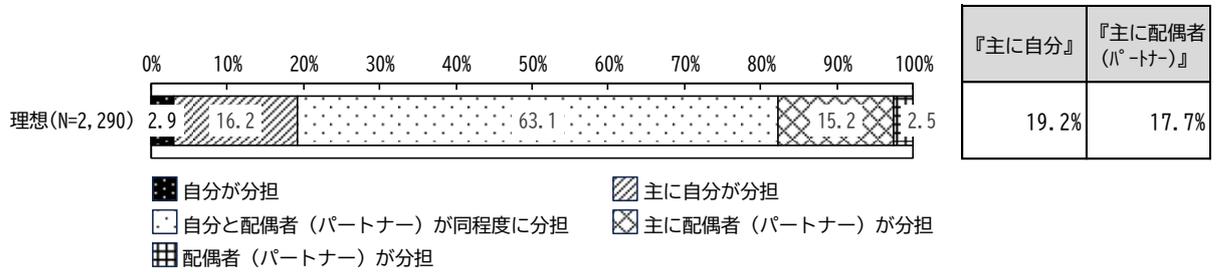
『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：女性）が最も多く 81.3%、次いで共働き（回答者：男性）が 76.5%と続いている。

『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共に無職が最も多く 16.0%、次いで共働き（回答者：男性）が 10.8%と続いている。

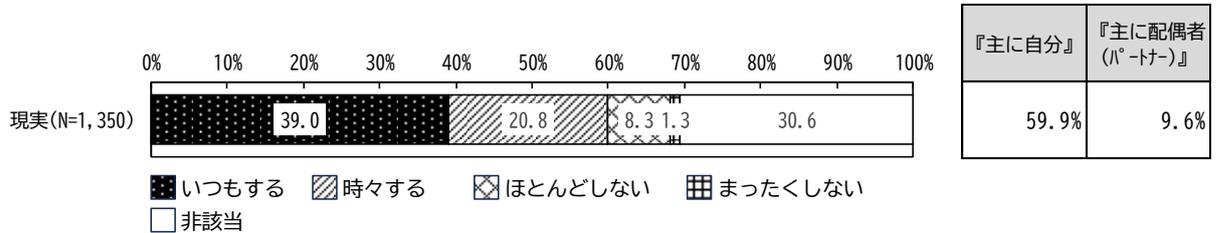


⑪ 育児（乳幼児の世話）

理想では、「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く 63.1%となっている。「自分が分担」と「主に自分が分担」をあわせた『主に自分』は 19.2%、「主に配偶者（パートナー）が分担」と「配偶者（パートナー）が分担」をあわせた『主に配偶者（パートナー）』は 17.7%となっている。



現実では、「非該当」を除いて「いつもする」が最も多く 39.0%、次いで「時々する」が 20.8%、「ほとんどしない」が 8.3%と続いている。

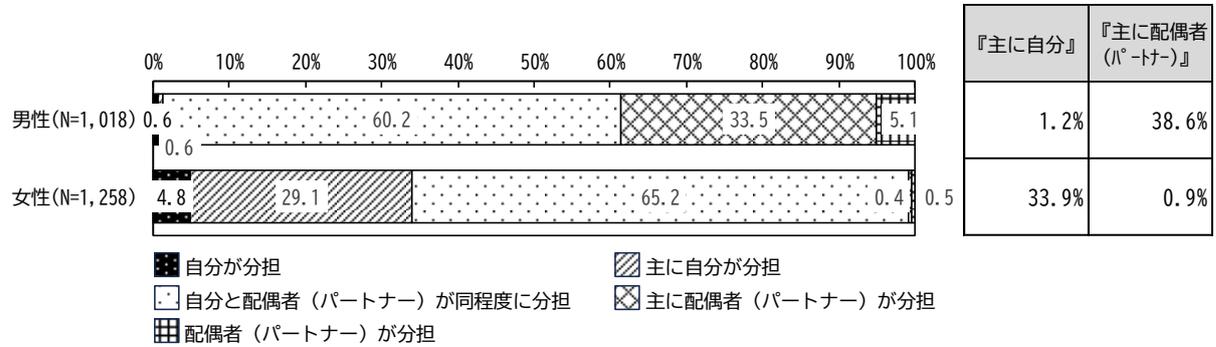


【性別】（育児（乳幼児の世話））

《理想》

男性、女性ともに「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く、男性が 60.2%、女性が 65.2%となっている。

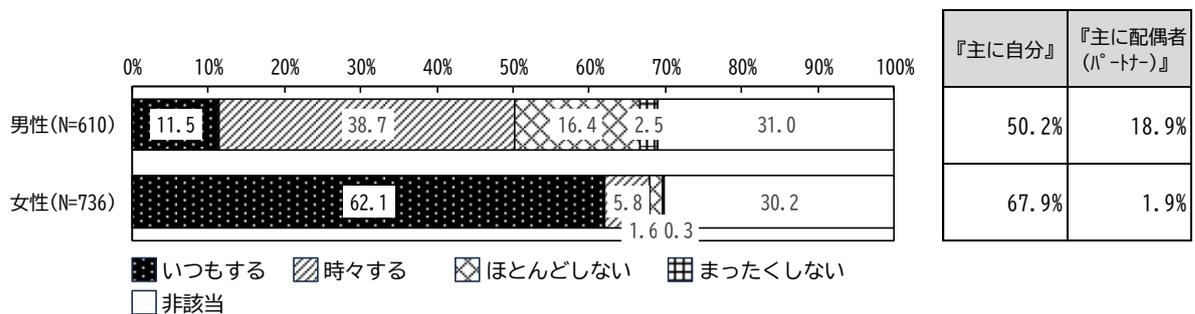
『主に自分』『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、男性、女性ともに大きく差があり、主に女性の役割分担となっている。



《現実》

男性では、「非該当」を除いて「時々する」が最も多く 38.7%、次いで「ほとんどしない」が 16.4%、「いつもする」が 11.5%と続いている。

女性では、「非該当」を除いて「いつもする」が最も多く 62.1%、次いで「時々する」が 5.8%、「ほとんどしない」が 1.6%と続いている。

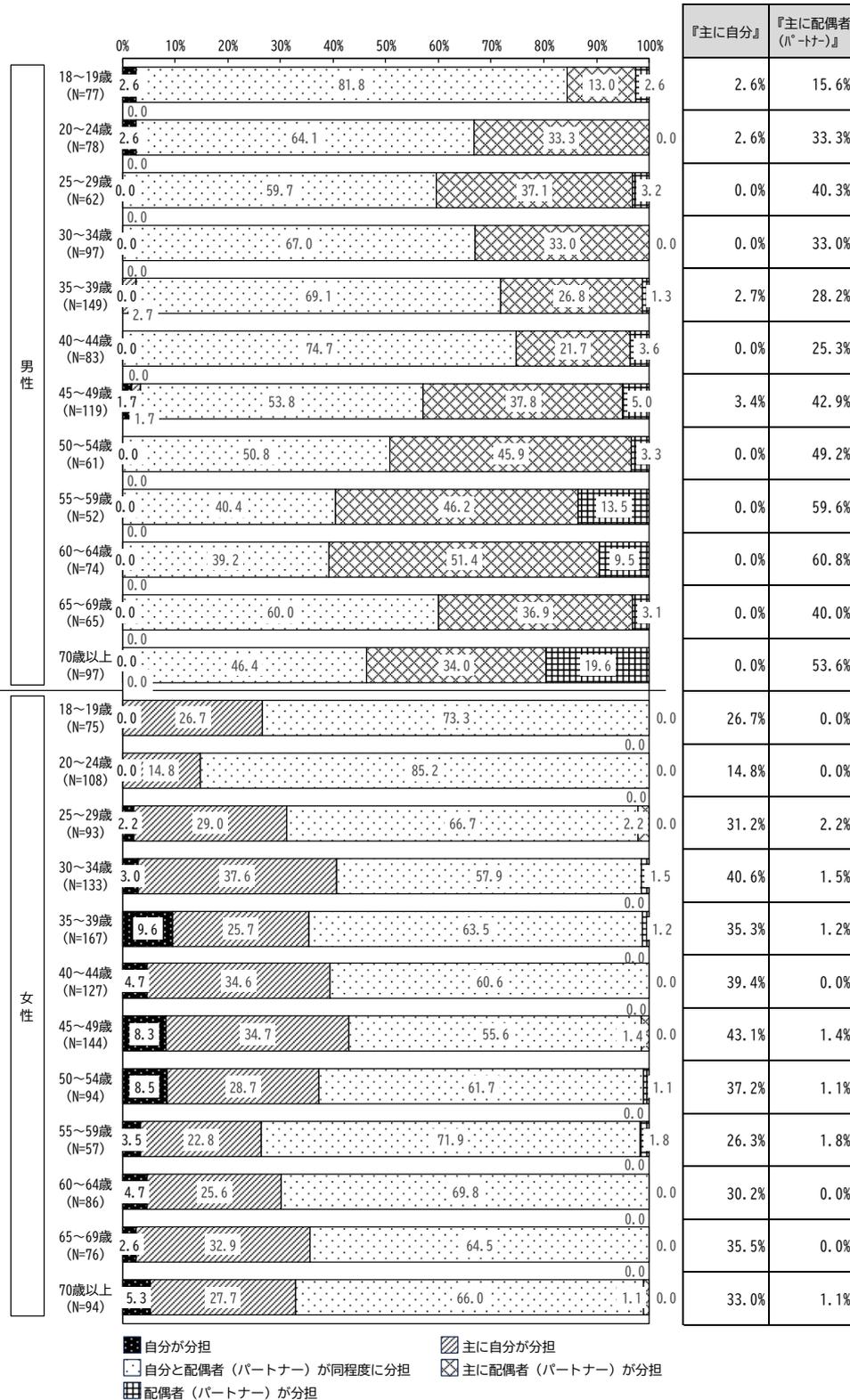


【性・年代別】（育児（乳幼児の世話））

《理想》

男性では、55～64歳を除く年代は「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が、55～64歳は「主に配偶者（パートナー）が分担」が最も多くなっている。

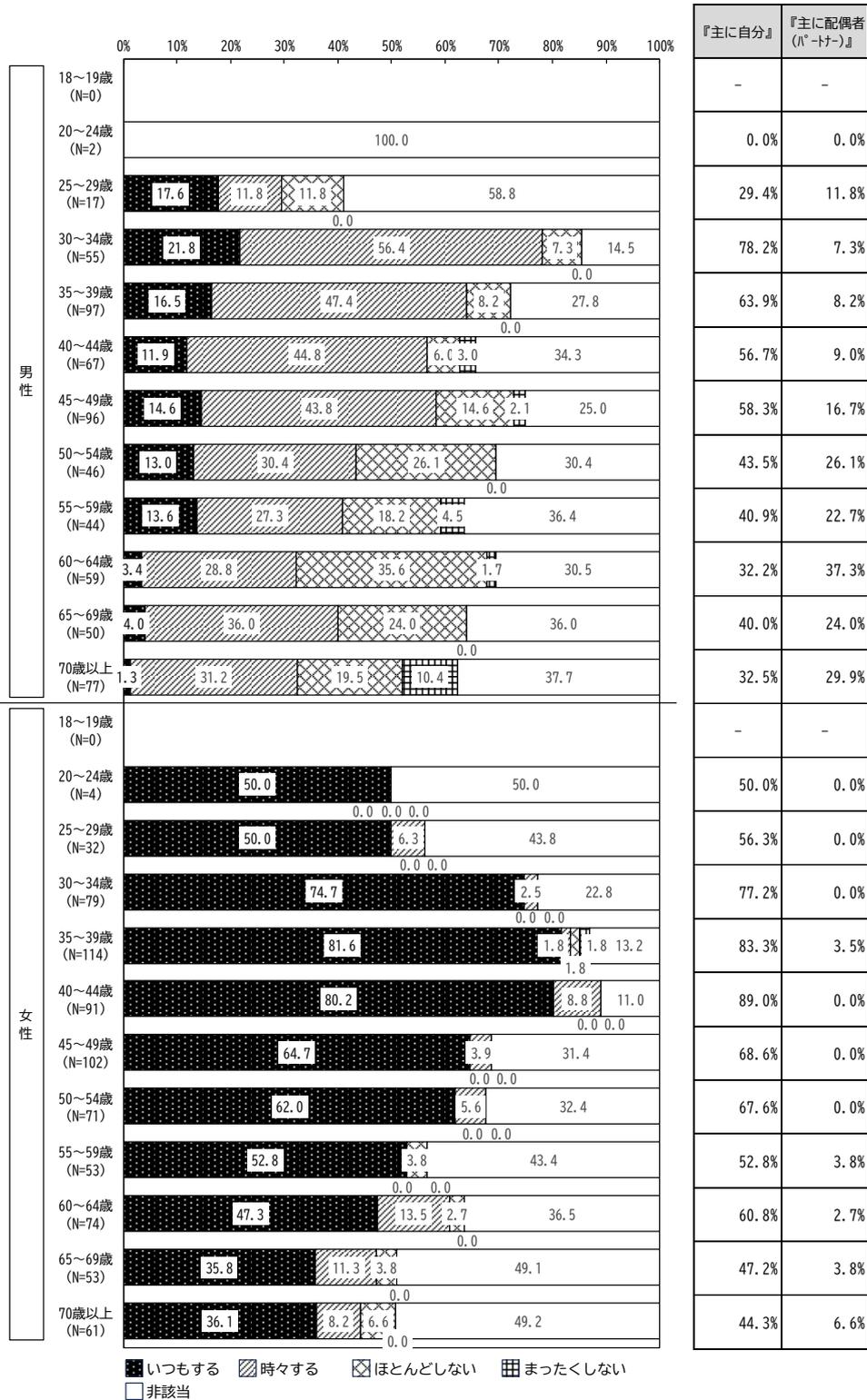
女性では、どの年代においても「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多くなっている。



《現実》

男性では、「非該当」を除いて25～29歳は「いつもする」が、60～64歳は「ほとんどしない」が、その他の年代は「時々する」が最も多くなっている。

女性では、「非該当」を除いてどの年代においても「いつもする」が最も多くなっている。

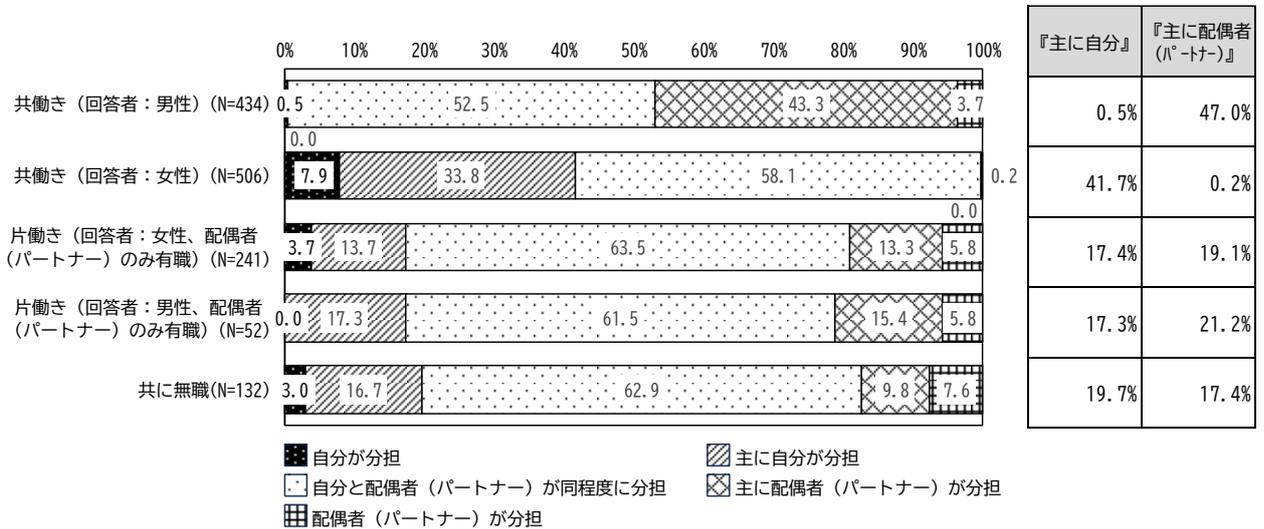


【片働き・共働き別】（育児（乳幼児の世話））

《理想》

『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：女性）が最も多く41.7%、次いで共に無職が19.7%と続いている。

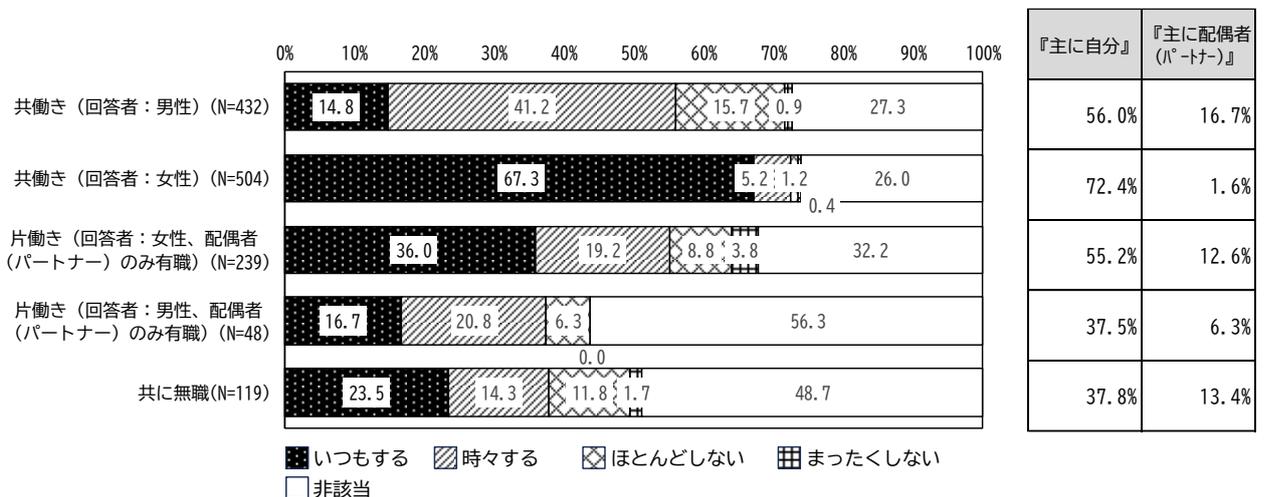
『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く47.0%、次いで片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が21.2%と続いている。



《現実》

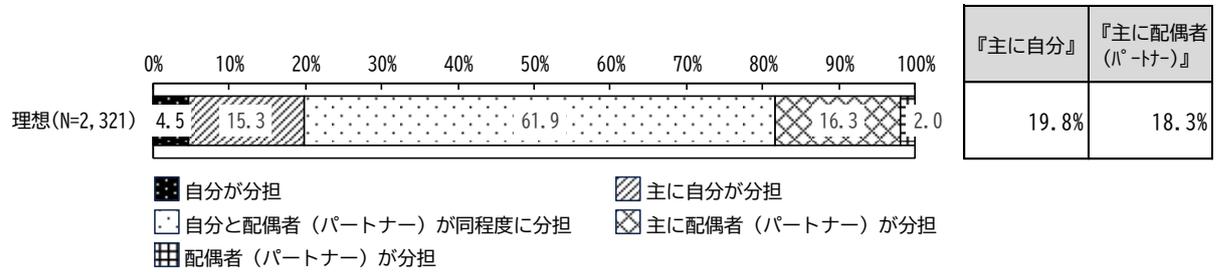
『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：女性）が最も多く72.4%、次いで共働き（回答者：男性）が56.0%と続いている。

『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く16.7%、次いで共に無職が13.4%と続いている。

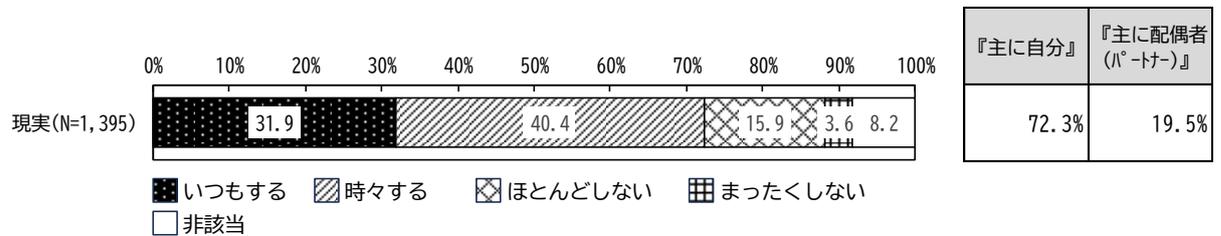


⑫ 自治会等の地域活動への参加

理想では、「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く 61.9%となっている。「自分が分担」と「主に自分が分担」をあわせた『主に自分』は 19.8%、「主に配偶者（パートナー）が分担」と「配偶者（パートナー）が分担」をあわせた『主に配偶者（パートナー）』は 18.3%となっている。



現実では、「非該当」を除いて「時々する」が最も多く 40.4%、次いで「いつもする」が 31.9%、「ほとんどしない」が 15.9%と続いている。

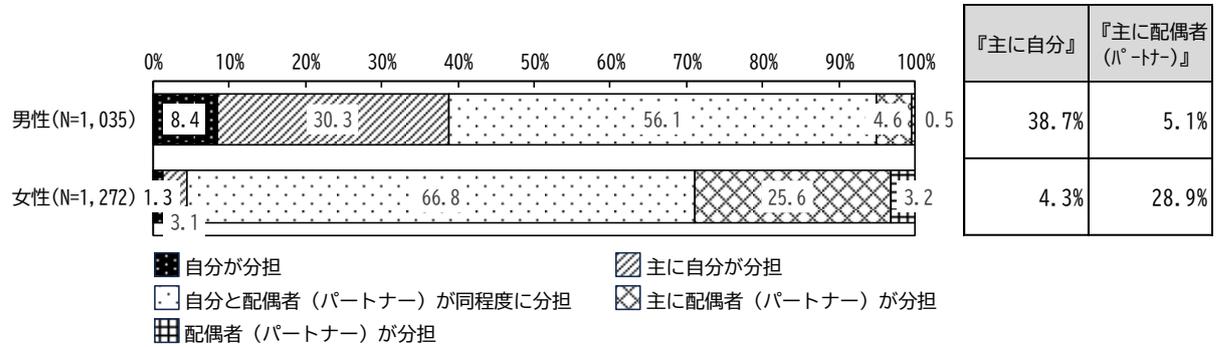


【性別】（自治会等の地域活動への参加）

《理想》

男性、女性ともに「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多く、男性が 56.1%、女性が 66.8%となっている。

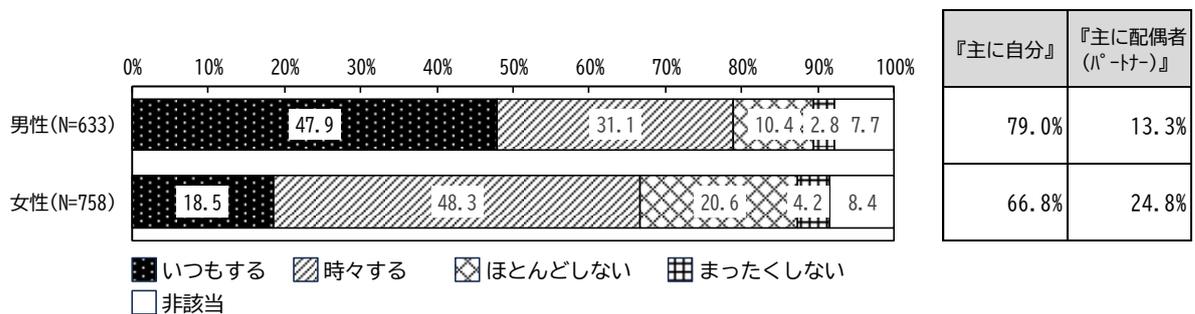
『主に自分』『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、男性、女性ともに大きく差があり、主に男性の役割分担となっている。



《現実》

男性では、「非該当」を除いて「いつもする」が最も多く 47.9%、次いで「時々する」が 31.1%、「ほとんどしない」が 10.4%と続いている。

女性では、「非該当」を除いて「時々する」が最も多く 48.3%、次いで「ほとんどしない」が 20.6%、「いつもする」が 18.5%と続いている。

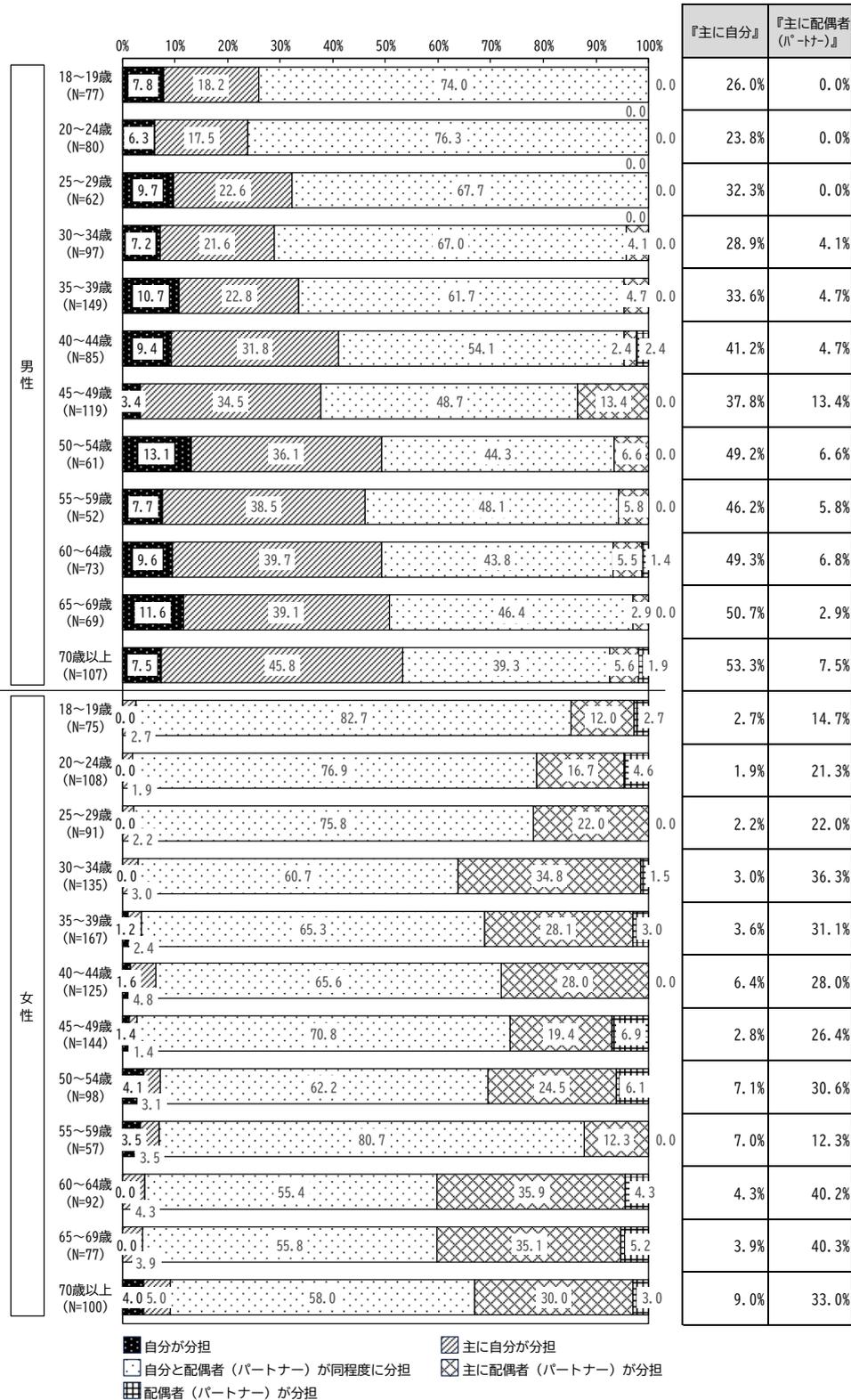


【性・年代別】（自治会等の地域活動への参加）

《理想》

男性では、18～69歳は「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が、70歳以上は「主に自分が分担」が最も多くなっている。

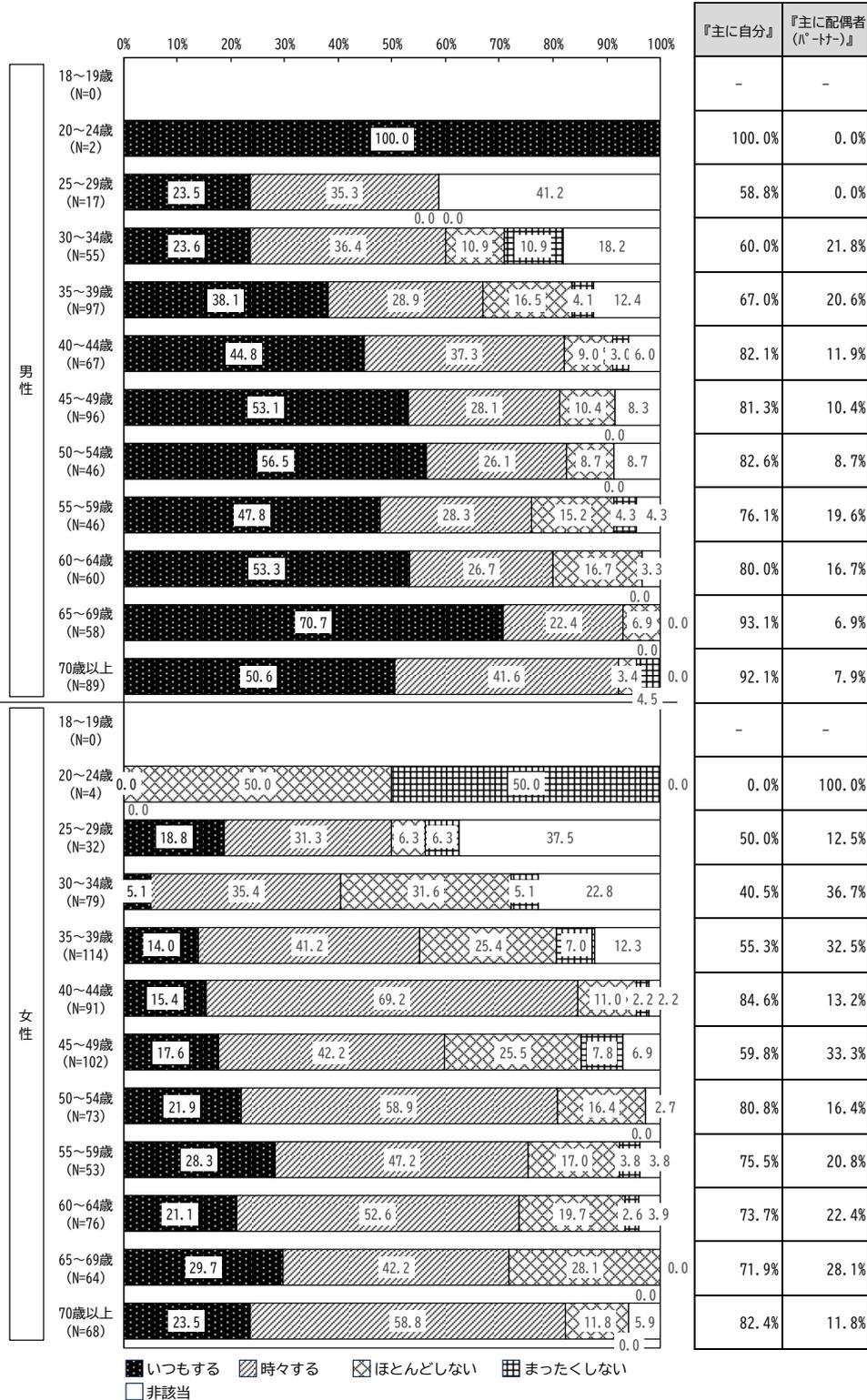
女性では、どの年代においても「自分と配偶者（パートナー）が同程度に分担」が最も多くなっている。



《現実》

男性では、「非該当」を除いて25～34歳は「時々する」が、その他の年代は「いつもする」が最も多くなっている。

女性では、「非該当」を除いて20～24歳は「ほとんどしない」「まったくしない」が、その他の年代は「時々する」が最も多くなっている。

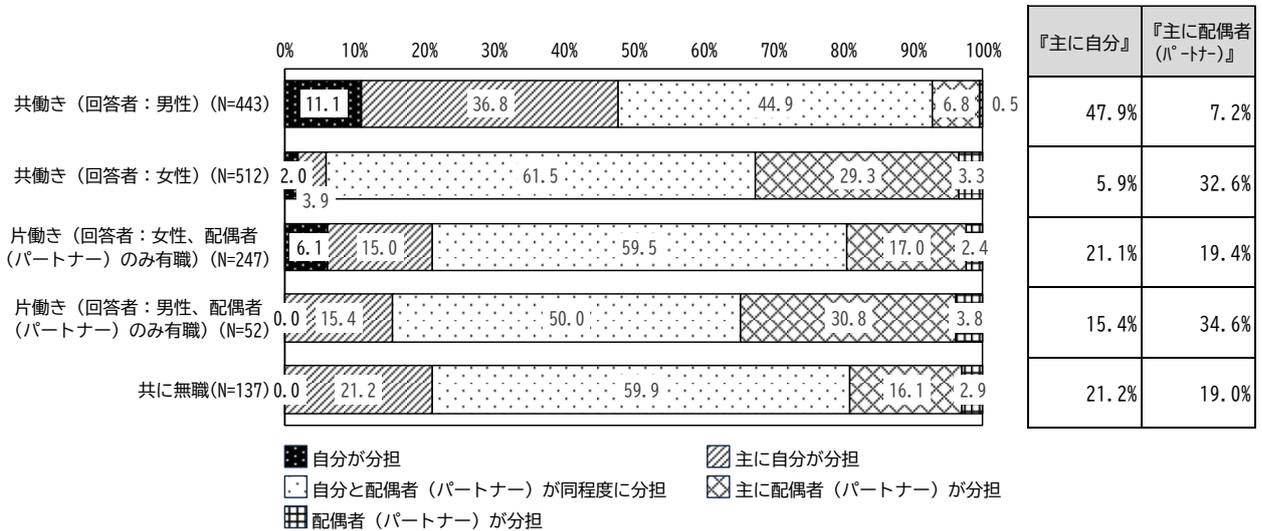


【片働き・共働き別】（自治会等の地域活動への参加）

《理想》

『主に自分』の割合をみると、共働き（回答者：男性）が最も多く 47.9%、次いで共に無職が 21.2%と続いている。

『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が最も多く 34.6%、次いで共働き（回答者：女性）が 32.6%と続いている。



《現実》

『主に自分』の割合をみると、共に無職が最も多く 82.5%、次いで共働き（回答者：男性）が 78.8%と続いている。

『主に配偶者（パートナー）』の割合をみると、片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が最も多く 32.7%、次いで共働き（回答者：女性）が 25.6%と続いている。

